

【参考資料】小金井市に関する現況整理

資料2「①小金井市の交通に関する課題」に示す、交通に関する現況・問題点の整理結果や、市民・公共交通利用者ニーズの整理結果のバックデータとなりますので、必要に応じてご参照ください。

目次

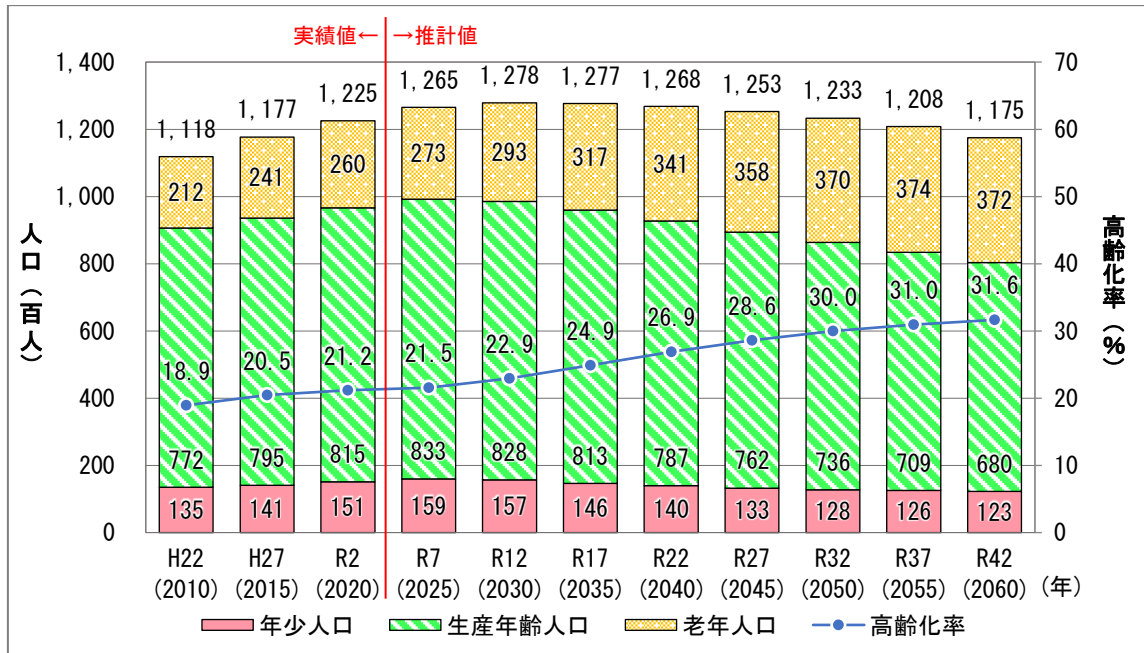
1 小金井市をとりまく社会情勢等.....	2
1.1 人口動向.....	2
1.2 まちづくり.....	3
1.3 公共交通の維持.....	4
2 交通に関する現状・問題点の整理.....	5
2.1 移動特性.....	5
2.2 交通特性.....	8
2.3 公共交通.....	12
2.3.1 鉄道.....	12
2.3.2 バス.....	14
2.3.3 タクシー.....	22
2.3.4 シェアモビリティ.....	23
3 市民・公共交通利用者ニーズの整理.....	24
3.1 日常的な移動(市民アンケート).....	24
3.2 バスの満足度(路線バス利用者アンケート/CoCoバス利用者アンケート).....	25
3.3 バスの不満事項(市民アンケート).....	27
3.4 今後の公共交通(市民アンケート).....	29
4 【参考】アンケート調査の概要.....	33
4.1 調査実施概要.....	33
4.2 (クロス集計)路線バス利用者の満足度.....	34

1 小金井市をとりまく社会情勢等

1.1 人口動向

小金井市の総人口は、令和 12 (2030) 年をピークに徐々に減少に転じることが予測されています。一方、65 歳以上の老年人口は今後も増加が続き、令和 32 (2050) 年には、おおよそ 3 人に 1 人が高齢者となる時代が到来すると想定されます。

図 5年ごとの年齢3区分別人口と高齢化率の推移

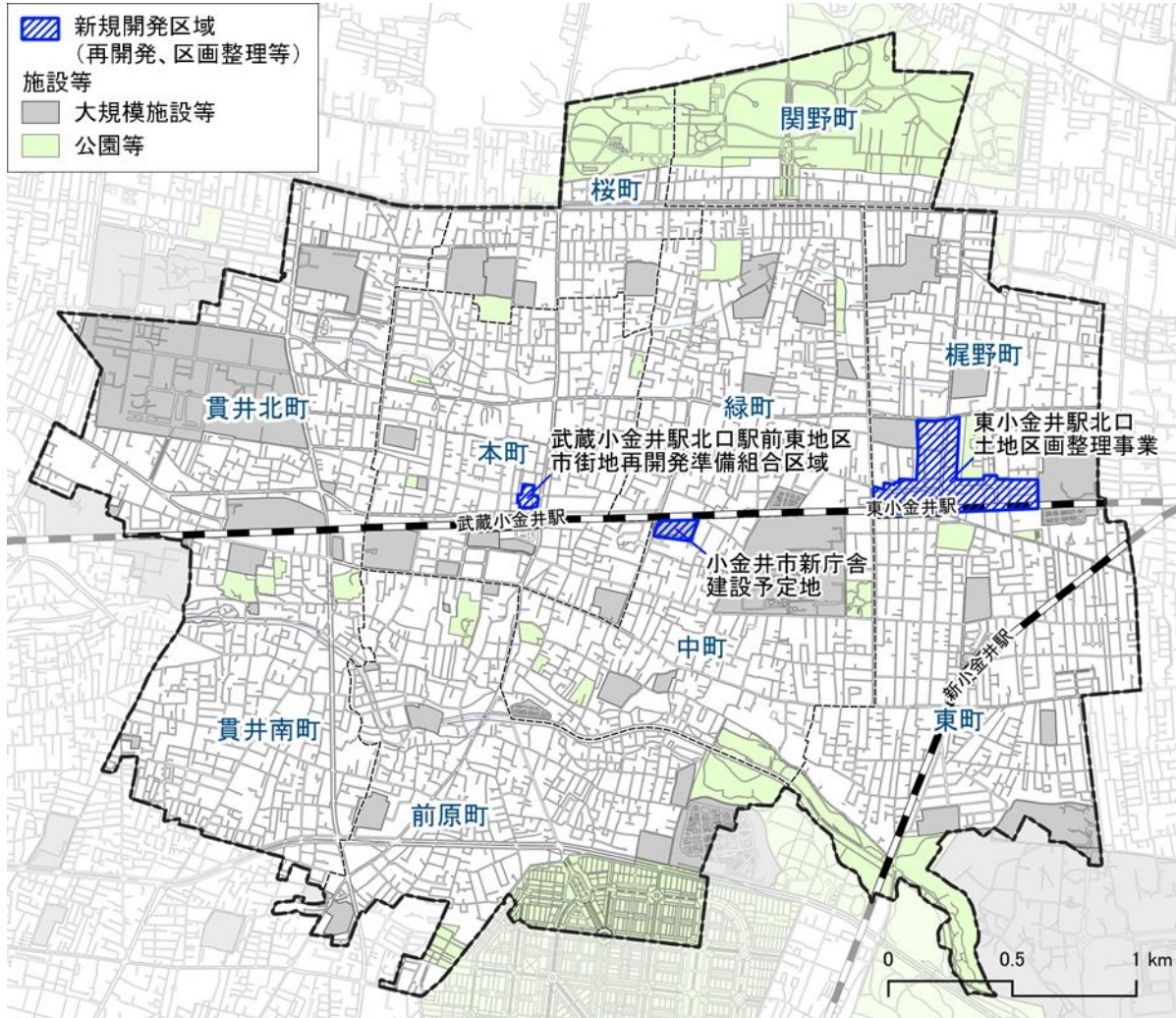


(出典：住民基本台帳データと小金井市人口ビジョンより作成)
 ※実績値は各年 4 月 1 日現在のデータ

1.2 まちづくり

市民サービスの向上等を目的として、新庁舎・（仮称）新福祉会館の建設が予定されています。武蔵小金井駅北口周辺では再開発事業、東小金井駅北口では土地区画整理事業が進められています。

図 再開発、区画整理等の計画地



出典：国土数値情報（国土交通省）、地理院タイル（国土地理院）より作成

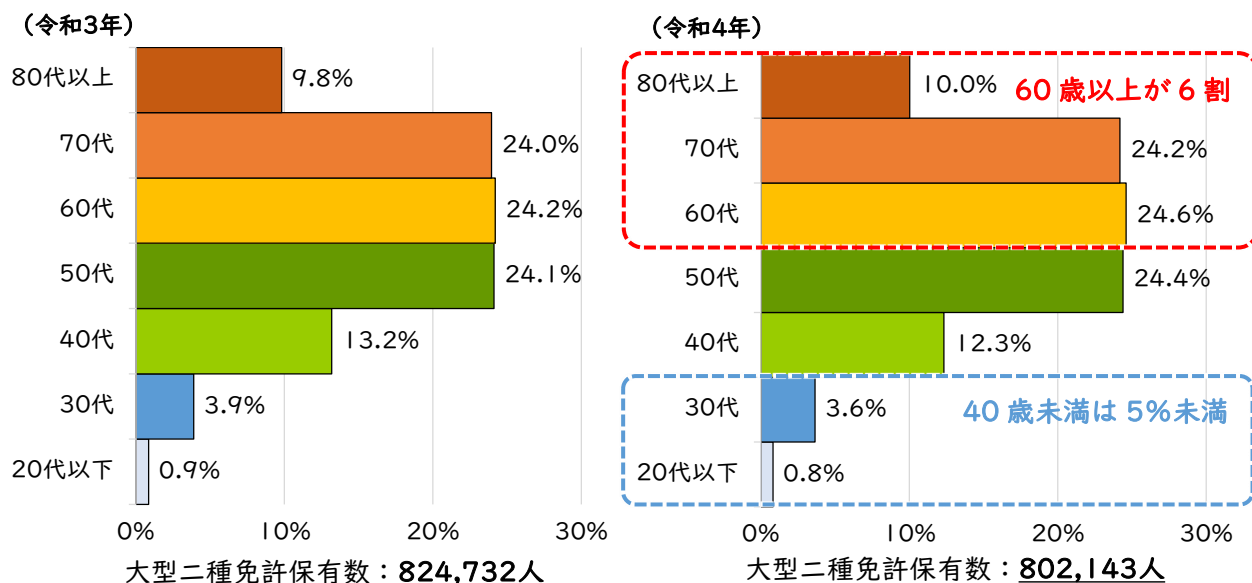
1.3 公共交通の維持

1) 運転士の状況

全国の大型二種免許保有者を年齢別にみると、バスやタクシーではドライバーの高齢化が進行しています。令和3年から令和4年の1年でも保有数は2万人減少しており、特に40歳未満が少ないことから、将来的により一層ドライバー不足が深刻になると見込まれます。

バス事業者へのヒアリングによると、小金井市周辺においても利用者数の減少や運転士不足により、一部路線では減便するなどサービスの維持が困難となっています。

図 大型二種免許保有者数の年齢階層別割合(全国)



出典：警察庁「運転免許統計」（令和3・4年版）より作成

2) バス・タクシー等運転手の勤務時間の見直し

トラック、バス、ハイヤー・タクシー等の自動車運転者の長時間労働を防ぐことは、労働者自身の健康確保のみならず、国民の安全確保の観点からも重要であることから、自動車運転者の労働時間等の労働条件の向上を図るため、拘束時間の上限、休息期間について基準等が設けられています。

令和6年4月にはこの基準の改正が予定されており、**運転士の労働環境改善が見込まれますが、運転士1人当たりの運転時間が短くなるため、現在の運行ダイヤの維持に向けて運転士不足に拍車がかかる可能性があります。**

表 バス運転士の勤務時間の見直しのポイント(抜粋)

	1年の拘束時間	1ヶ月の拘束時間	1日の休息期間
改正前	<u>3,380</u> 時間	原則 281 時間 最大 <u>309</u> 時間	継続 <u>8</u> 時間
改正後	原則 <u>3,300</u> 時間	原則 281 時間 (4か月連続は不可) 最大 <u>294</u> 時間	継続 <u>11</u> 時間を基本とし 9 時間下限

出典：厚生労働省「自動車運転者の長時間労働改善に向けたポータルサイト」より作成

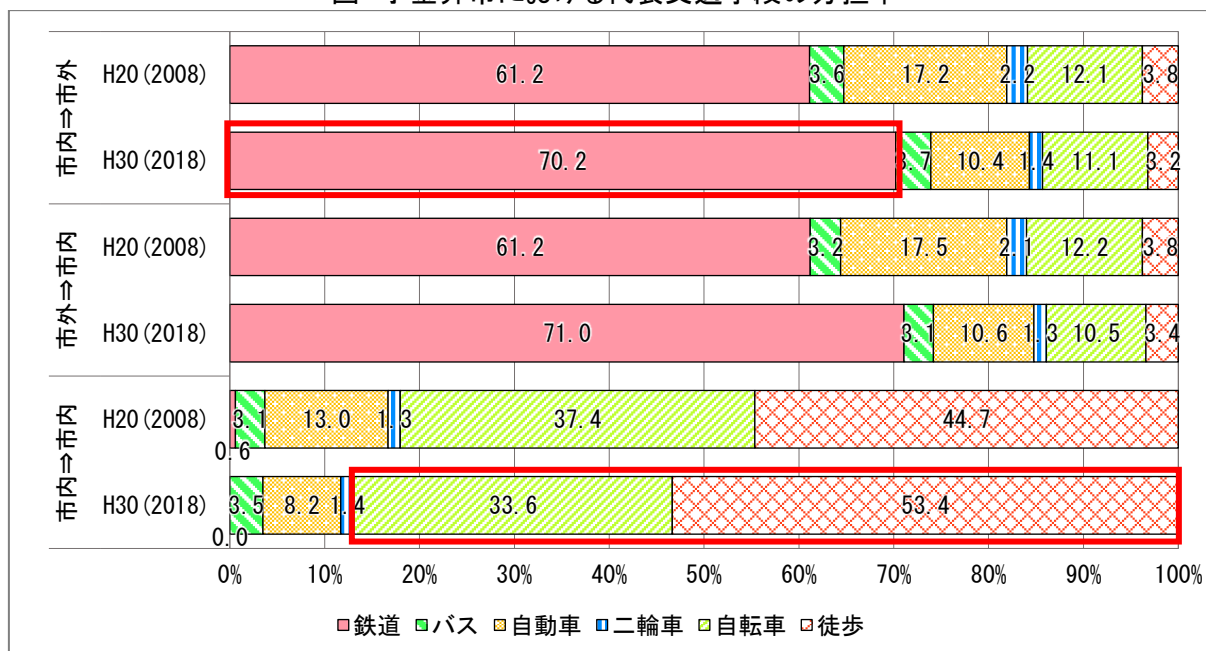
2 交通に関する現状・問題点の整理

2.1 移動特性

1) 交通手段

小金井市はコンパクトなまちであるため、市内の移動は徒歩（53.4%）、自転車（33.6%）が中心です。市外への移動では、鉄道が多く（70.2%）利用されています。

図 小金井市における代表交通手段の分担率

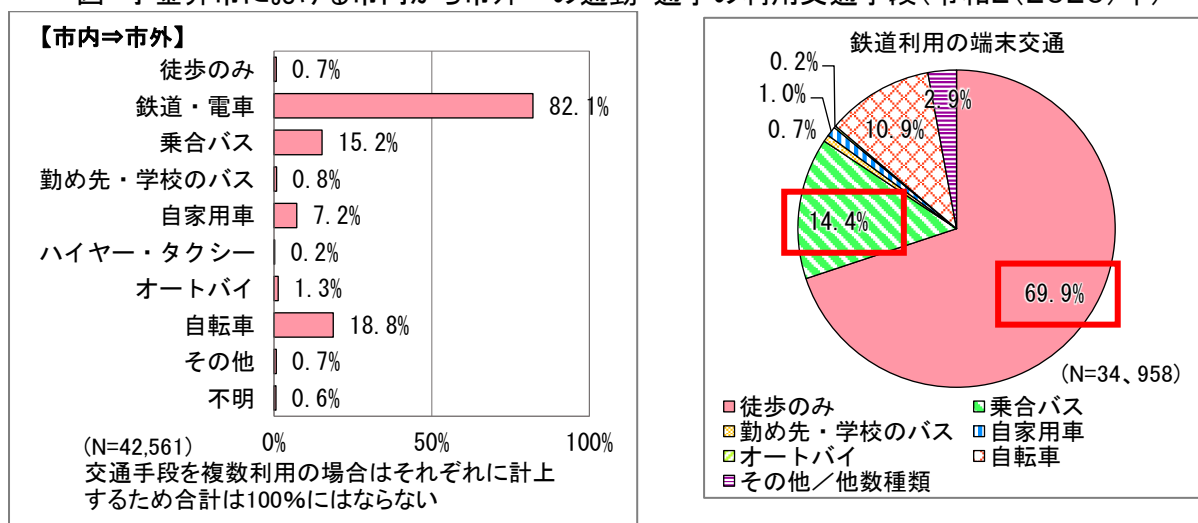


(出典：東京都市圏パーソントリップ調査より作成)
※交通手段その他・不明を除いて作成

2) 駅への移動手段

駅への移動は徒歩が中心（69.9%）で、乗合バスも14.4%の方に利用されています。

図 小金井市における市内から市外への通勤・通学の利用交通手段(令和2(2020)年)



(出典：令和2(2020)年国勢調査より作成)

3) 通勤・通学先

通学については小金井市外からの流入、通勤については小金井市から他地域への流出が多い傾向にあります。通勤先としては、特に中央線沿線の千代田区、新宿区など特別区への通勤人口が多くなっています。

図 通学人口(令和2(2020)年)

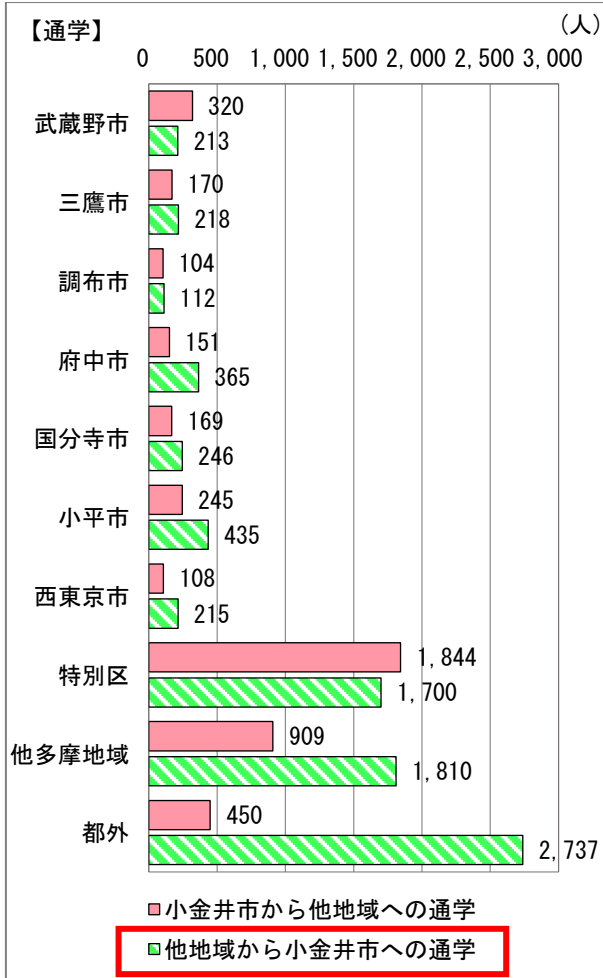
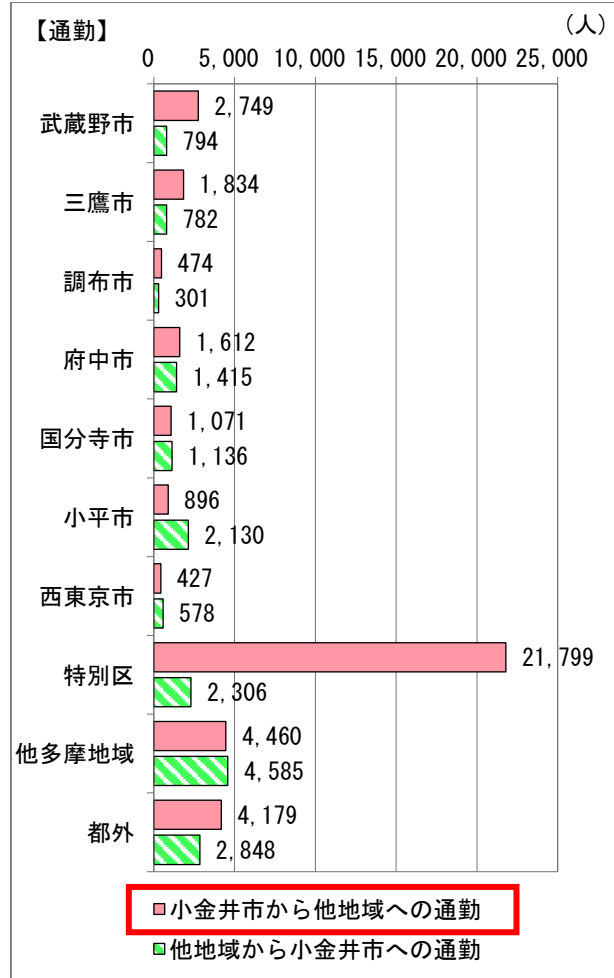


図 通勤人口(令和2(2020)年)

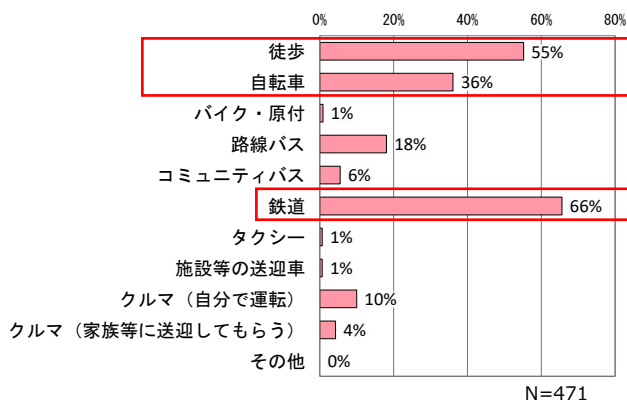


(出典：令和2(2020)年国勢調査より作成)

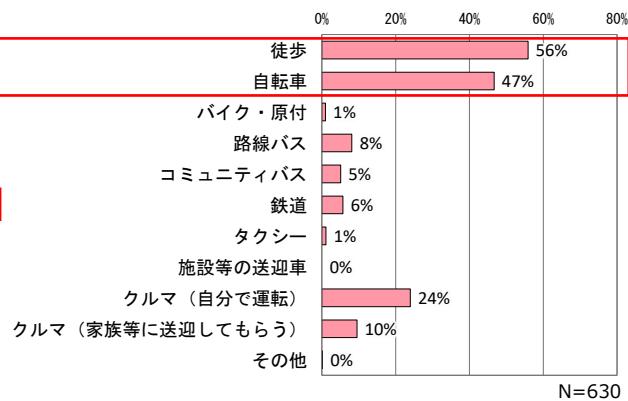
4) 目的別交通手段

日常移動での交通手段として、いずれの目的の移動でも徒歩や自転車の利用が多く、通勤・通学や趣味・娯楽施設への移動では鉄道の利用も比較的多くなっています。（市民アンケート）

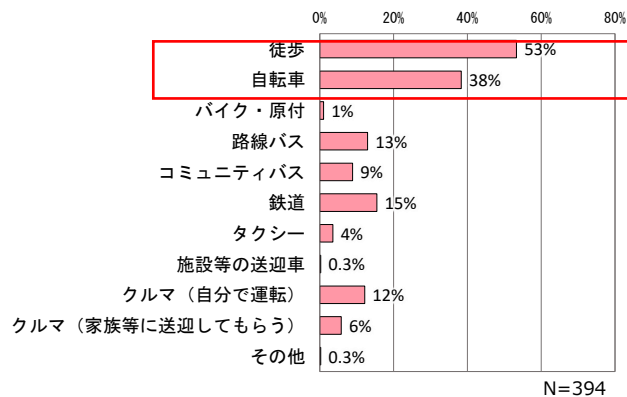
2-1② 通勤・通学先への交通手段



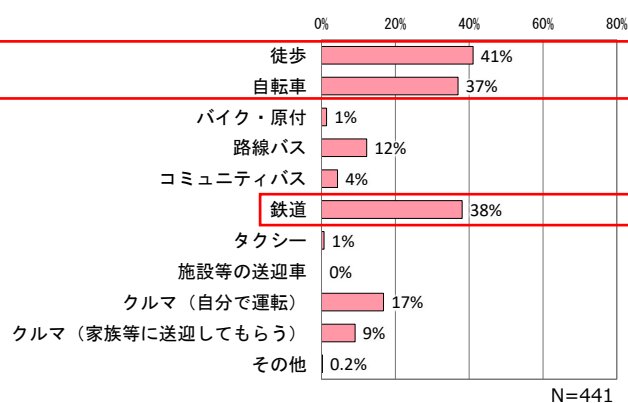
2-2② 買い物先への交通手段



2-3② 通院先への交通手段



2-4② 趣味・娯楽施設への交通手段



※市民アンケート

2.2 交通特性

1) 施設配置

公共、商業施設は駅を中心に集積しており、医療施設は駅から離れた地域にも点在しています。市内には複数の大規模な公園があり、休日には市内外から多くの来訪者が訪れます。

図 施設配置図(※令和1(2019)年時点)

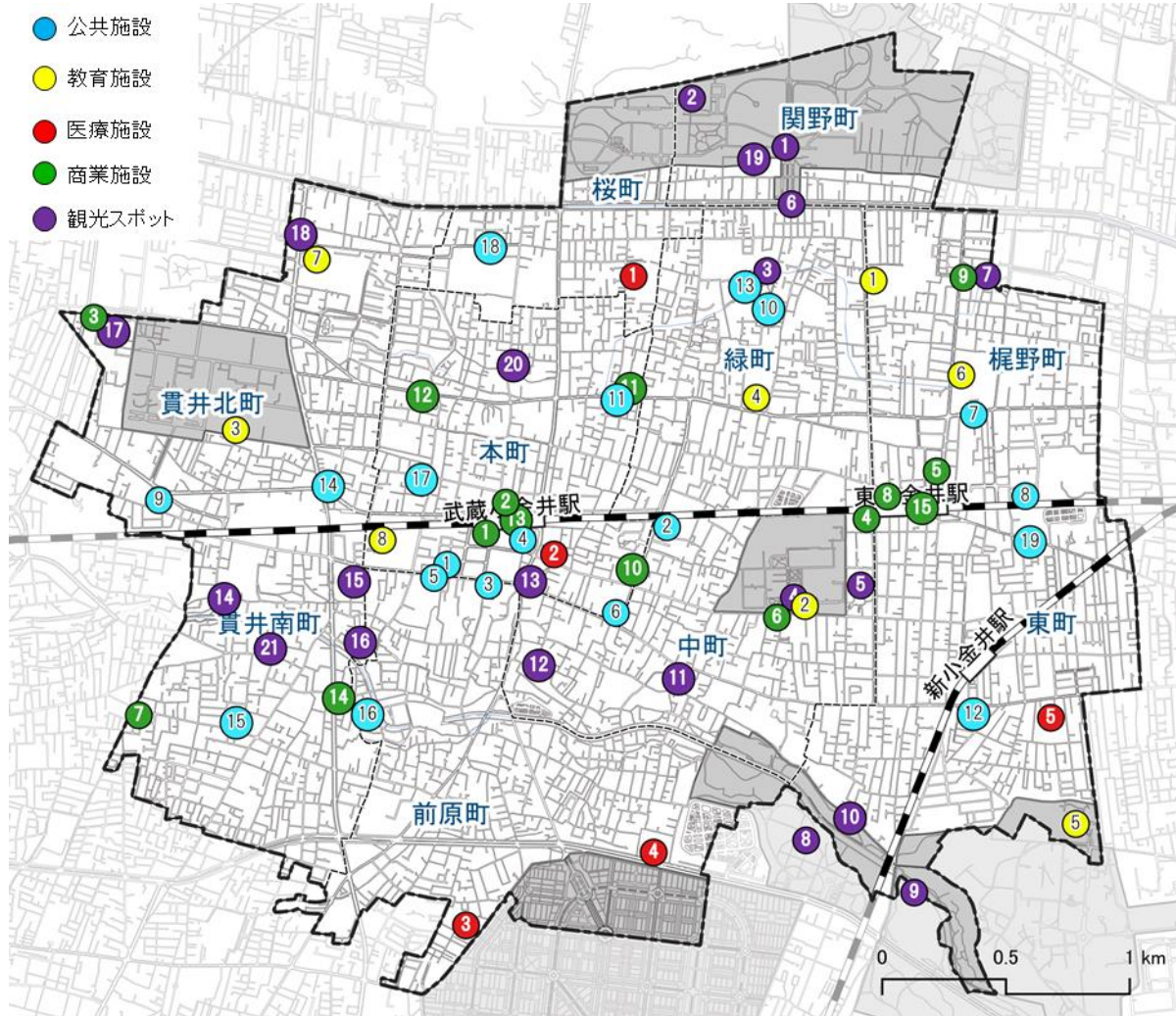


表 小金井公園、江戸東京たてももの園年間来訪者数

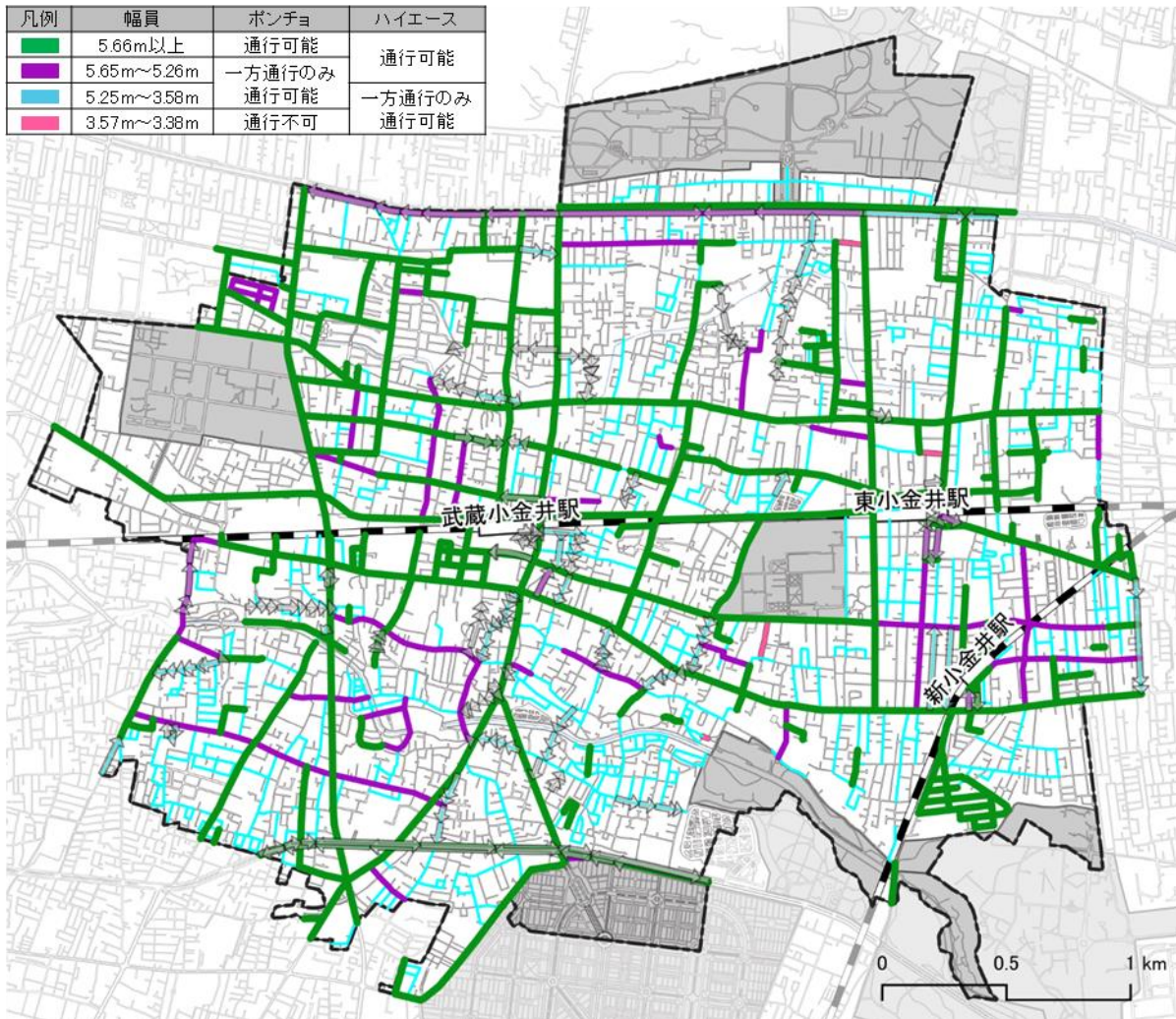
	(人/年)				
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
小金井公園	2,270,515	2,192,756	2,746,615	2,678,082	2,968,756
江戸東京たてももの園	116,052	100,771	229,663	256,202	252,476

出典：小金井公園マネジメントプラン（東京都建設局）、事業実績（江戸東京博物館）より作成

2) 道路状況

小金井市内の道路については、縦横に幅員の広い道路が通っています。他方、主要な道路から中に入ると細かい路地が多い状況で、大型の車両などは通行できない場所が多くあります。

図 コミュニティバスの通行可能な道路



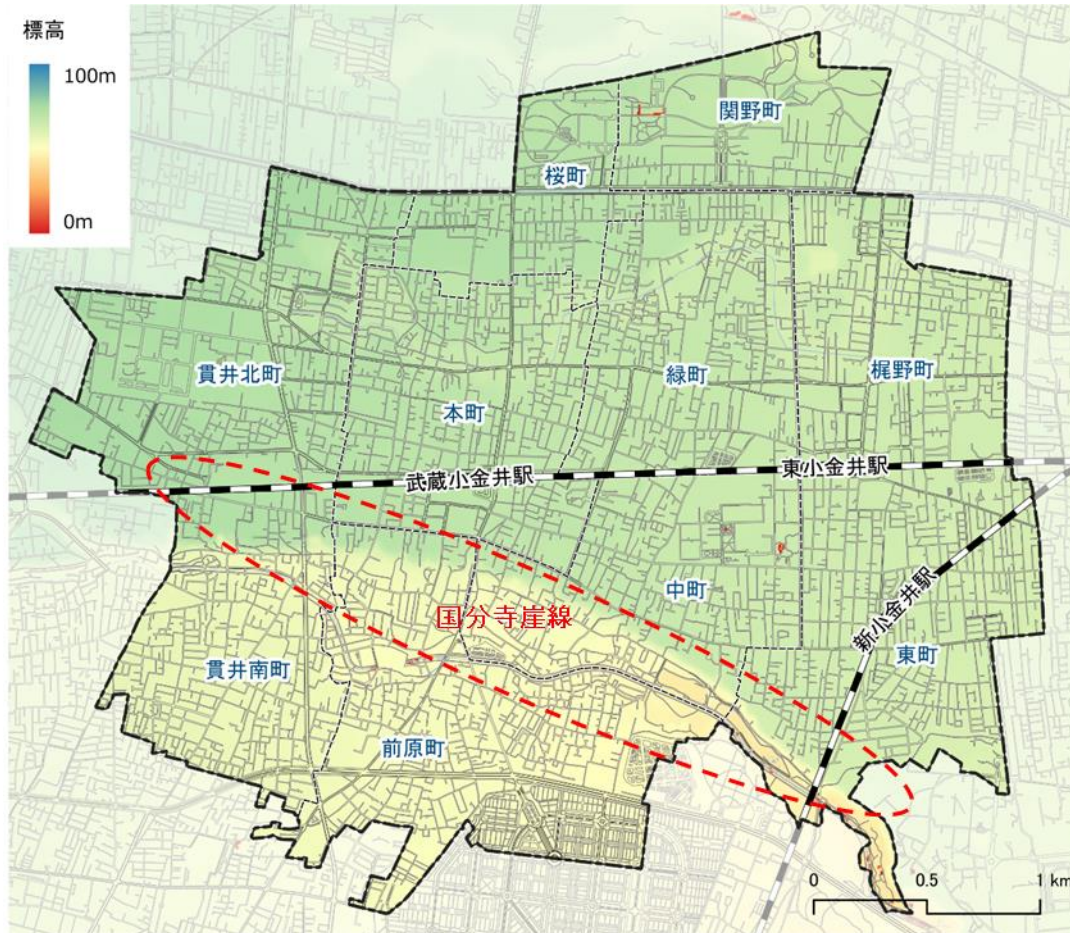
(出典：小金井市道路台帳（令和1（2019）年9月時点）より作成)

3) 地形

小金井市の地形について、市北部から東部の鉄道沿線地域は、ほぼ平坦であり、市南部地域は、中町の南部、前原町、貫井南町の北部に、立川から始まり野川、多摩川に沿って田園調布付近まで続く国分寺崖線が市を東西に横断しています。

市南側の地域では、南北移動や駅へのアクセスにおいて、徒歩や自転車での移動負荷が大きい状況です。

図 地形高低差



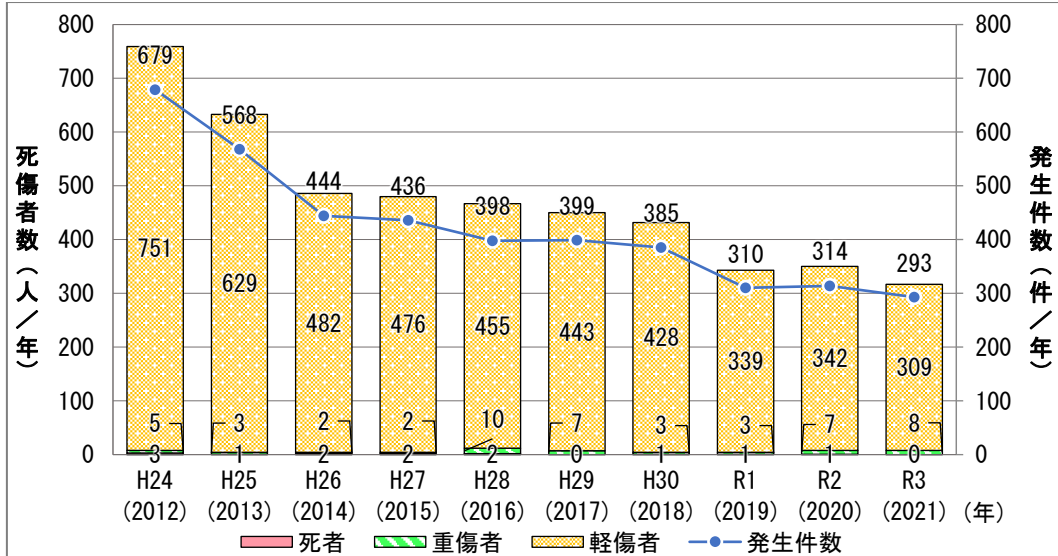
(出典：国土地理院「基盤地図情報」より作成)

4) 交通事故発生状況(年代別・手段別)

小金井警察署管轄地域(小金井市・国分寺市)における交通事故発生件数については、減少傾向が続いており、それに伴い死傷者数についても減少傾向にあります。

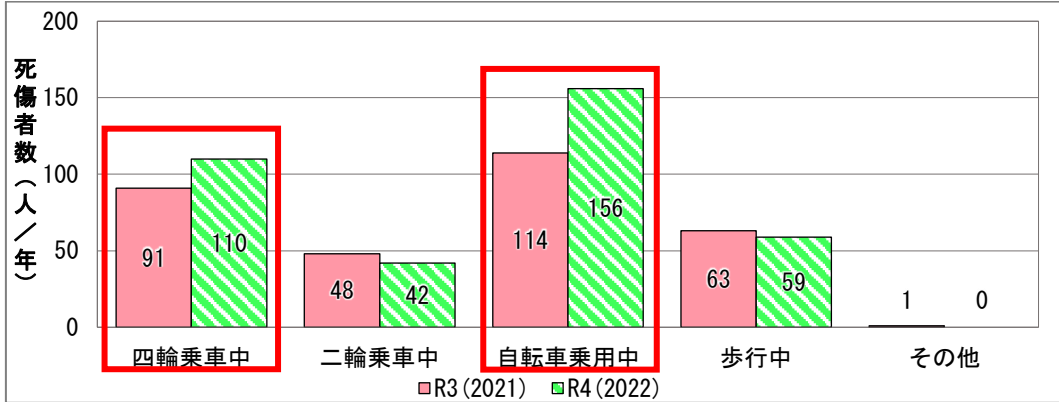
事故要因をみると、自動車及び自転車乗用中の事故が比較的多くなっています。

図 小金井署管轄地域における年間死傷者数、発生件数



(出典：警視庁の統計より作成)

図 小金井署管轄地域における状態別年間死傷者数



(出典：小金井警察署の統計より作成)

2.3 公共交通

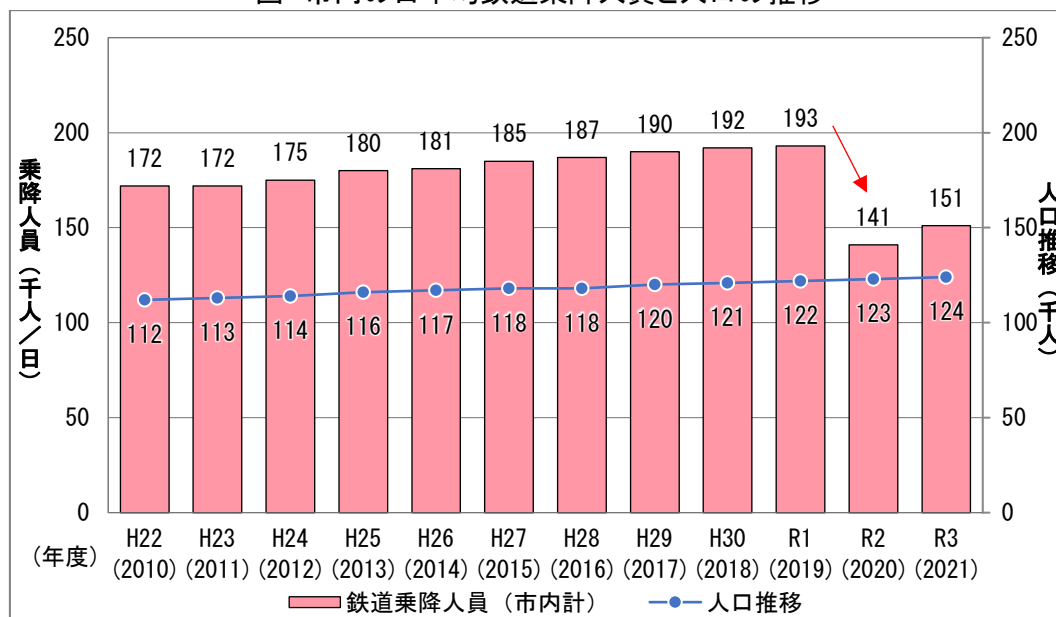
2.3.1 鉄道

1) 利用状況

JR 中央線が市の中心を東西方向に運行しており、運行本数・時間帯共に充実し市民のみならず近隣市を含めた多くの方の移動手段として大きな役割を果たしています。

市内3駅（JR 中央本線 武蔵小金井駅・東小金井駅と西武多摩川線 新小金井駅）の乗降人員は、人口の増加に伴い増加傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって大きく減少しています（12%減（R3/R1年度））。

図 市内の日平均鉄道乗降人員と人口の推移



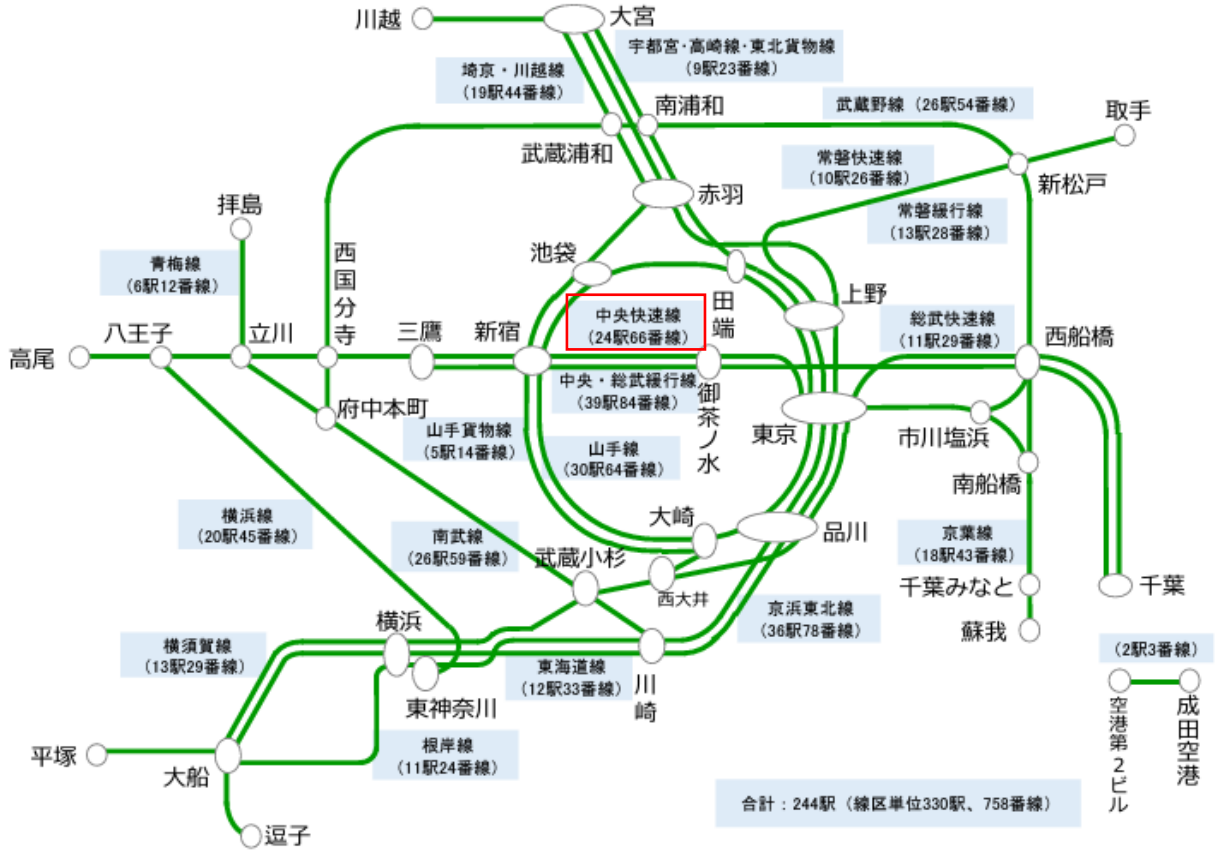
（出典：東日本旅客鉄道㈱、西武鉄道㈱資料より作成）

※東日本旅客鉄道㈱については乗車人員を2倍し乗降人員として集計

2) 利用環境

JR 東日本では、安全性・快適性向上のため、ホームドアの設置及びグリーン車の導入が予定されています。

図 2031 年度末頃までのホームドア整備対象



出典：東日本旅客鉄道(株)資料 (https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220405_ho01.pdf)

図 グリーン車運行区間

【グリーン車運行区間および列車】

- ・中央快速線（東京～大月間）：E233系通勤電車（オレンジ帯の電車）で運行する全ての列車
- ・青 梅 線（立川～青梅間）：中央快速線と直通運転を行う全ての列車



出典：東日本旅客鉄道(株)資料 (<https://www.jreast.co.jp/press/2018/20180402.pdf>),
https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220427_ho01.pdf)

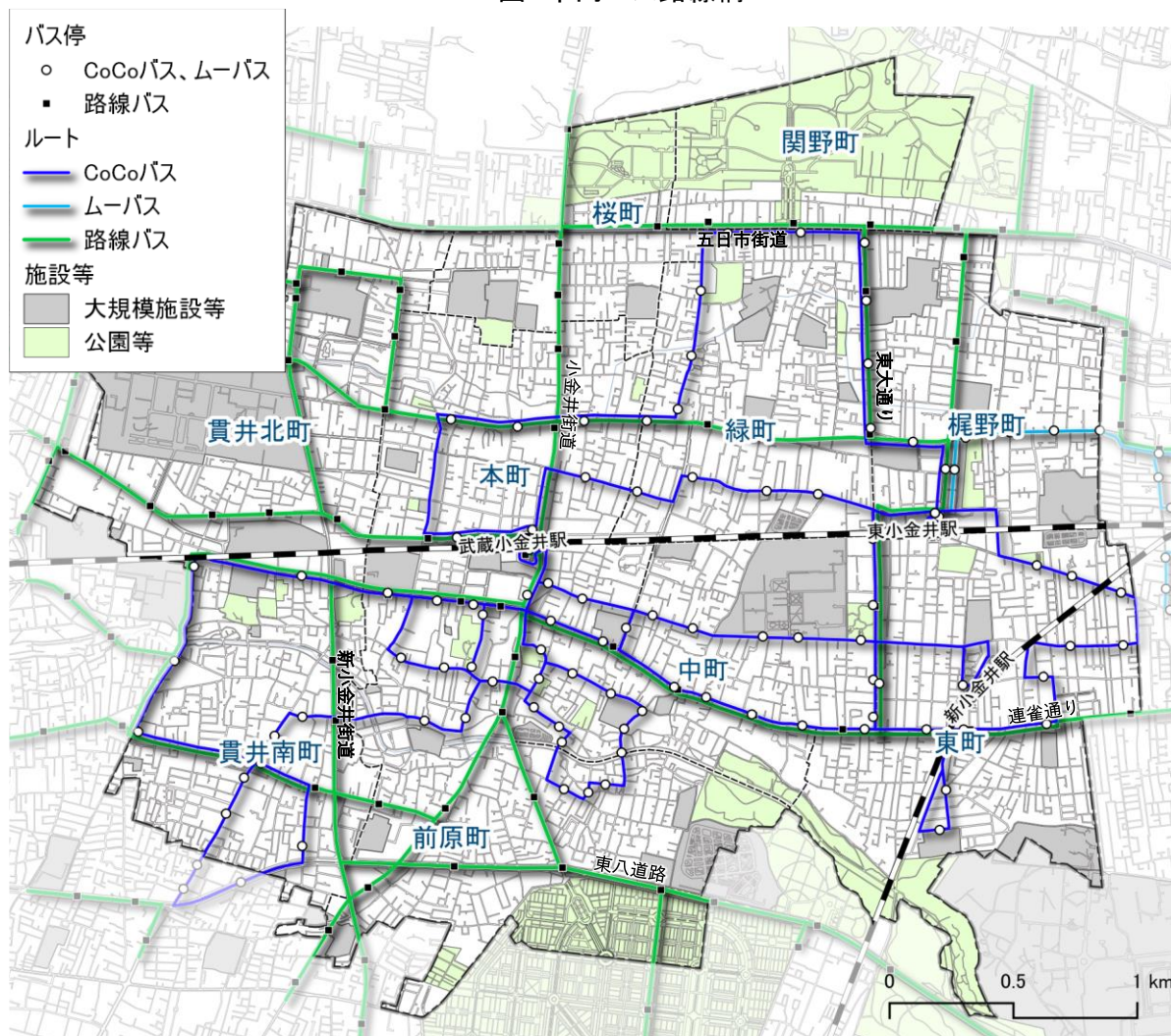
2.3.2 バス

(1) 路線網

小金井市に関連する路線バスは、小金井市内を循環する路線のほか、ほとんどが南北の隣接市と接続する路線となっており、市内外からの JR 中央線沿線への移動需要を担っています。

小金井市のコミュニティバス CoCo バスは、鉄道や路線バスでカバーされない交通不便地域を埋める形で再編されたことに伴い、他交通機関と合わせ、おおよそ市内を網羅的に公共交通が運行している状況です。

図 市内バス路線網

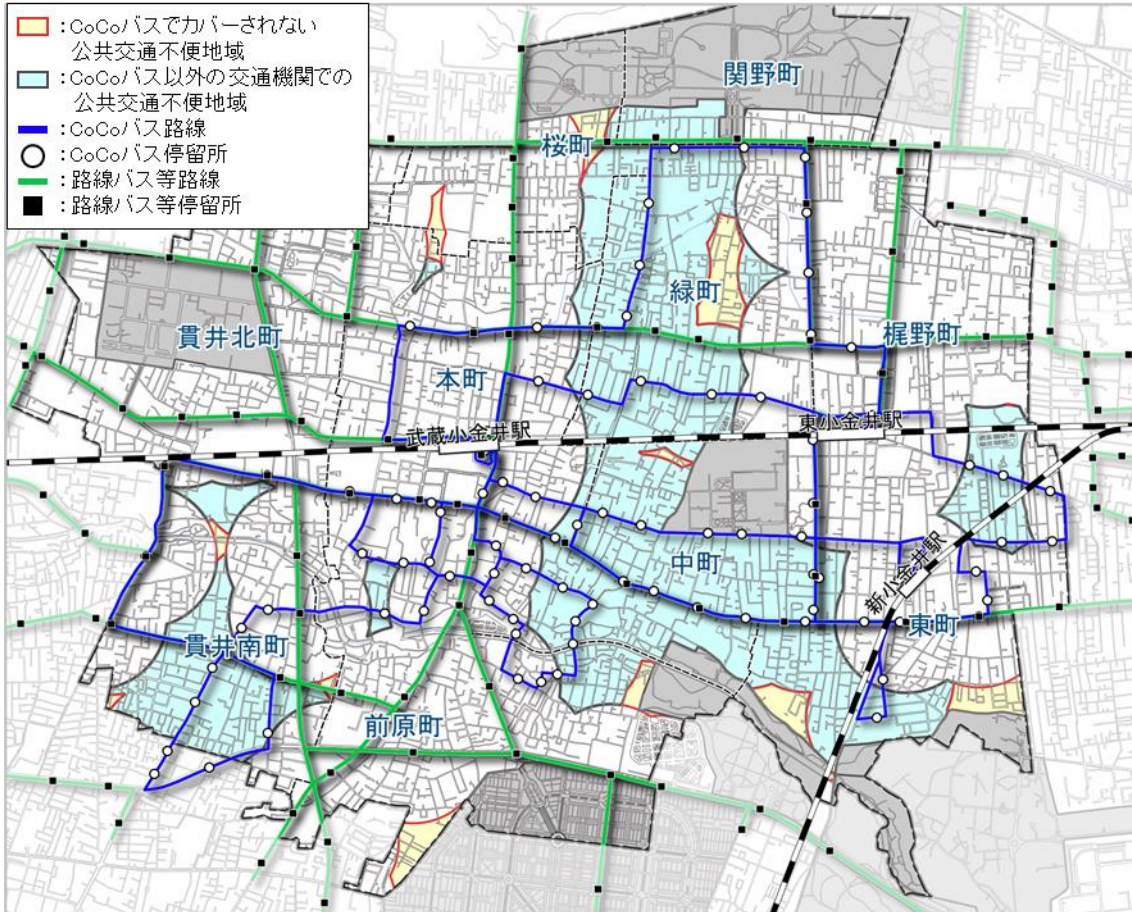


出典：国土数値情報（国土交通省）、地理院タイル（国土地理院）、各事業者の路線図より作成

(2) 公共交通不便地域

小金井市において、コミュニティバスでカバーされない交通不便地域は以下の通りとなっており、概ね全域がカバーされています。

図 公共交通不便地域



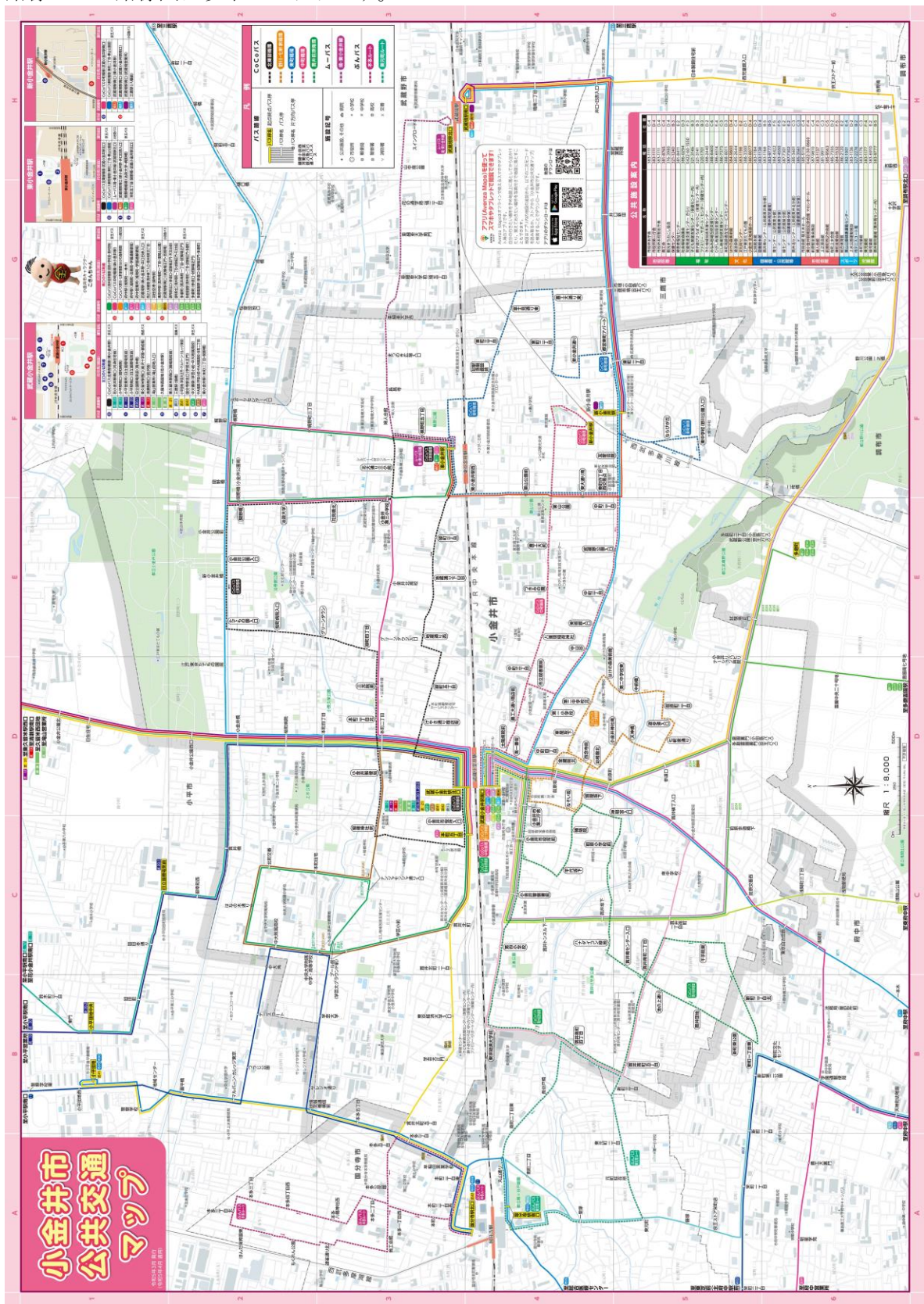
出典：基盤地図情報を加工して作成

※※「公共交通不便地域」の定義は以下の条件を全て満たす地域
 【鉄道駅】武蔵小金井駅・東小金井駅 500m 以遠、新小金井駅 300m 以遠
 【路線バス】1 日の運行本数が片側 20 便以上の路線バス停留所 300m 以遠

1) 路線バス

(1) 路線バスの路線

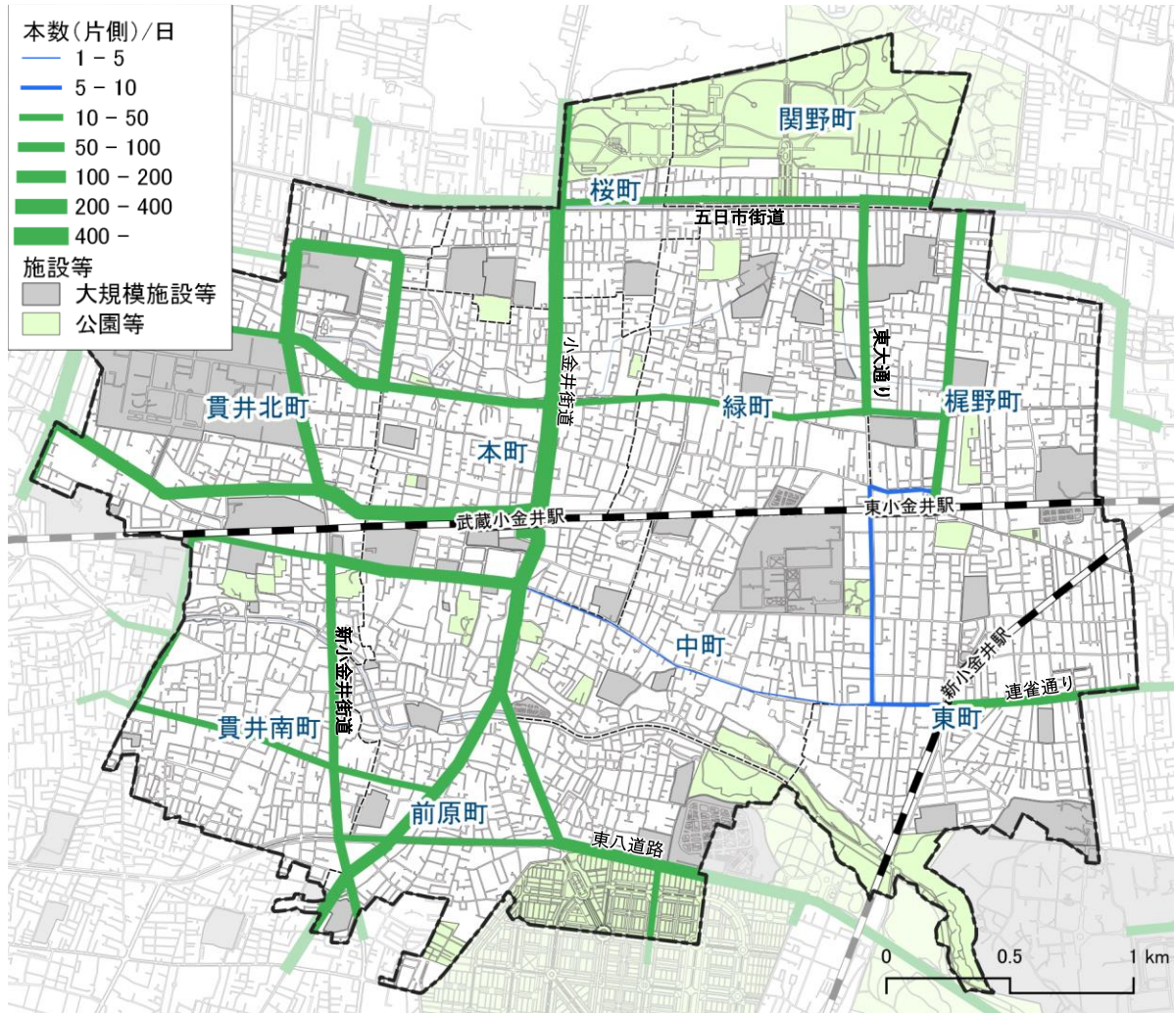
路線バスの路線図は以下のとおりです。



(2) 運行本数

1日あたり400本を超える本数が運行するなどサービス性の高い区間も存在します。

図 路線バス運行本数図



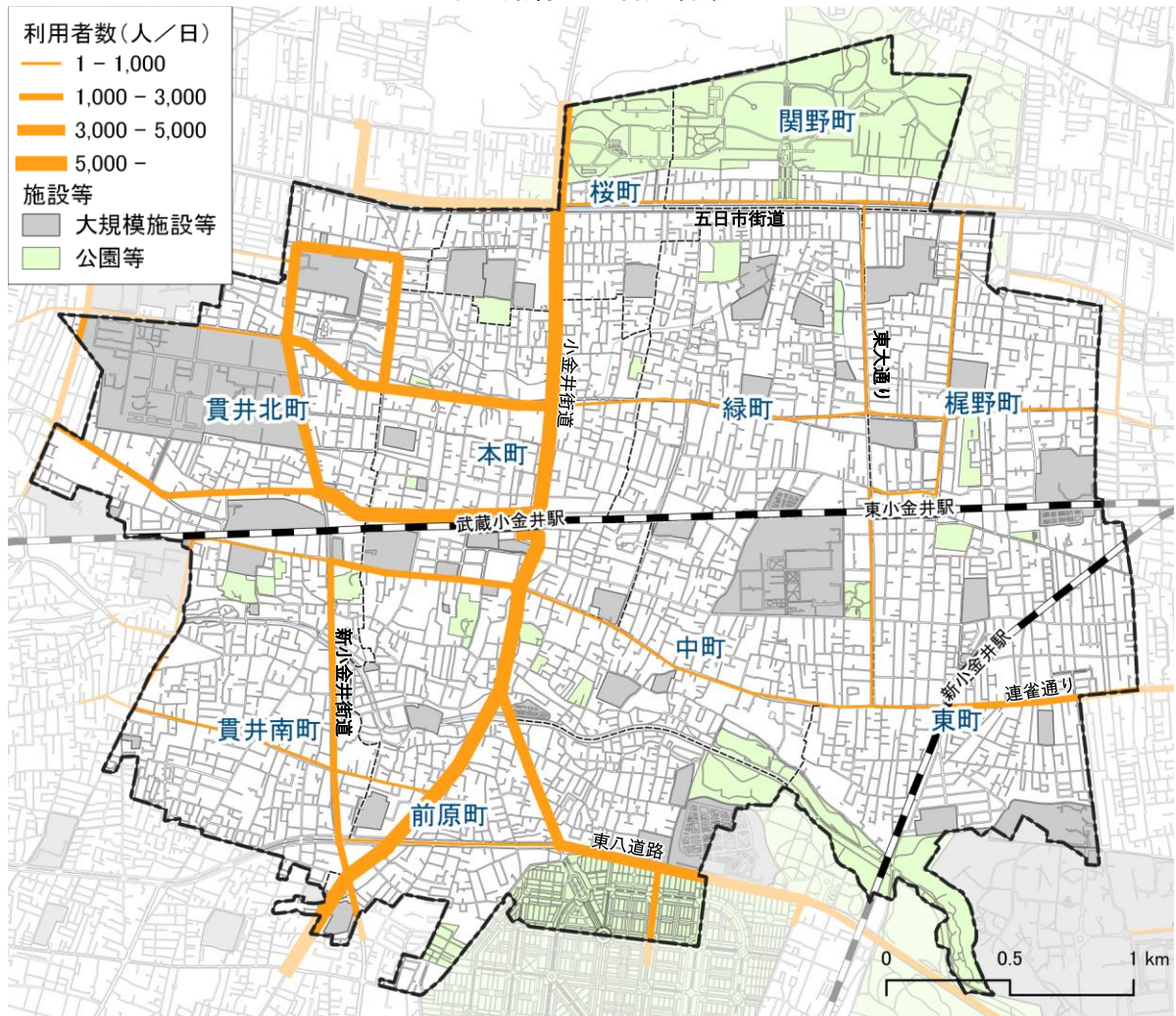
出典：国土数値情報（国土交通省）、地理院タイル（国土地理院）、各事業者の時刻表、路線図より作成

(3) 利用者数

小金井市の東部地域は利用者数が少なく、武蔵小金井駅を通り、市を南北に貫く小金井街道を通る系統の利用者数が多くなっています。

バス事業者によると、新たな生活様式や価値観の定着により、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して利用者数が10～15%の減少のまま横ばいで、これ以上の回復は見込めない可能性があります。

図 路線バス利用者数

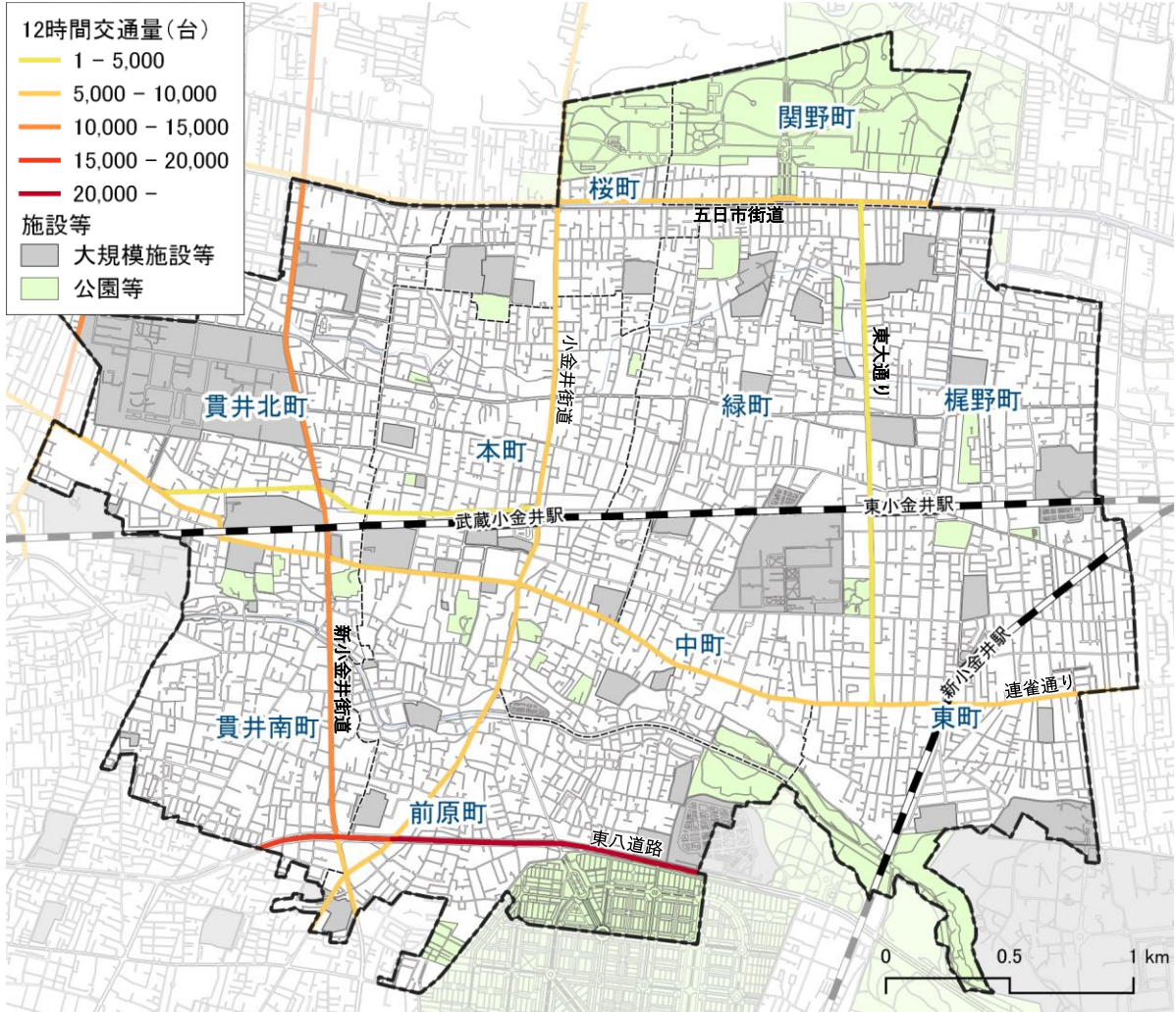


出典：国土数値情報（国土交通省）、地理院タイル（国土地理院）、各事業者の提供資料より作成

(4) 道路混雑状況

市西部を南北に走る新小金井街道や南部の東八道路で交通量が多い状況です。
武蔵小金井駅北口や休日の小金井公園周辺で交通集中や渋滞による定時性への影響が生じています。

図 主要幹線道路の交通量



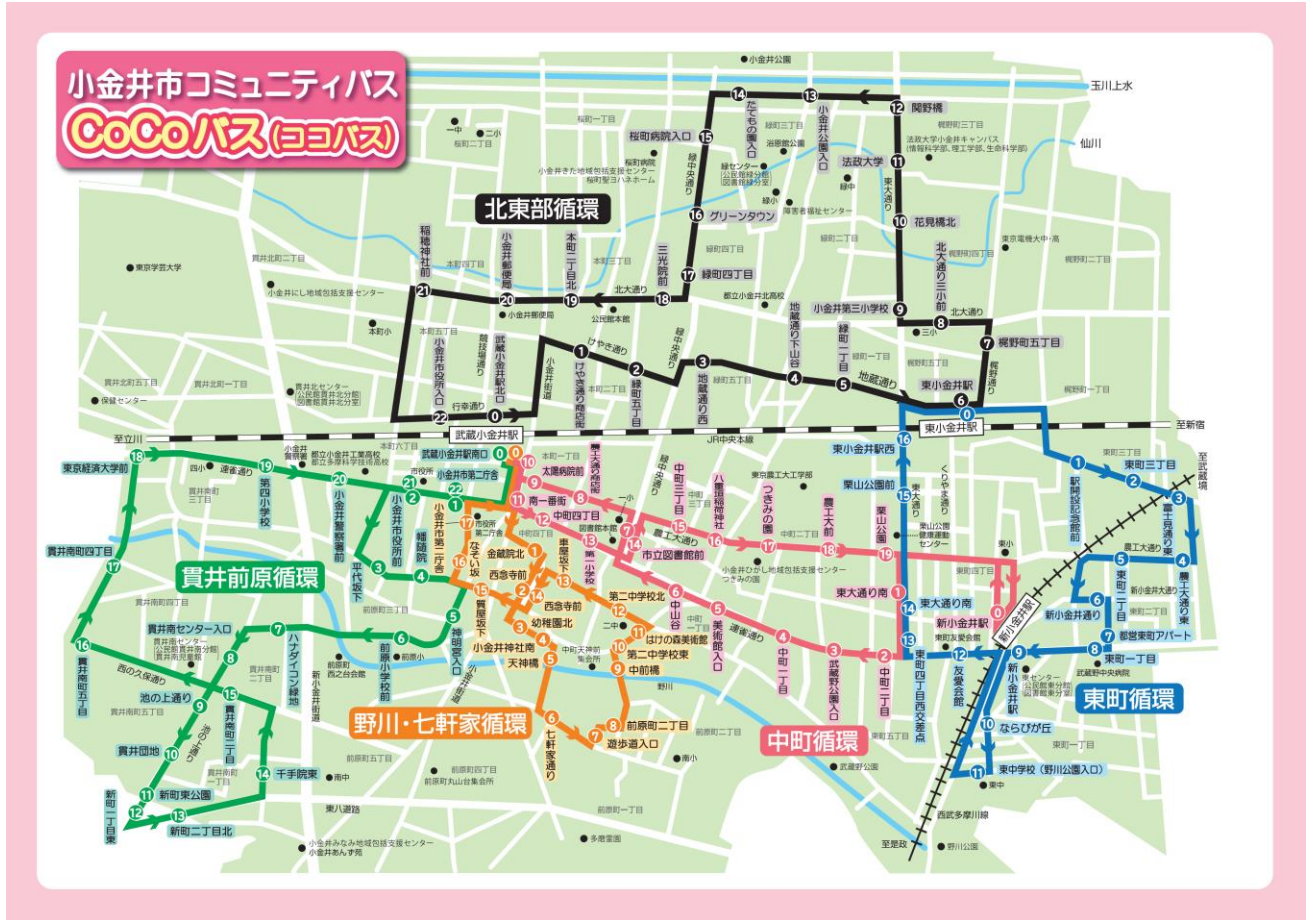
出典：国土数値情報（国土交通省）、地理院タイル（国土地理院）、R3 道路交通センサスより作成

2) コミュニティバス

(1) CoCo バスの路線

令和 5 (2023) 年 4 月の再編後の CoCo バス路線は以下のとおりです。

図 CoCo バス路線図(令和 5(2023)年 4 月以降)



(2) 運行本数

令和 5 (2023) 年 4 月の再編後の各路線の運行本数、運行間隔、運行時間帯は以下のとおりです。

表 CoCo バスの運行本数等

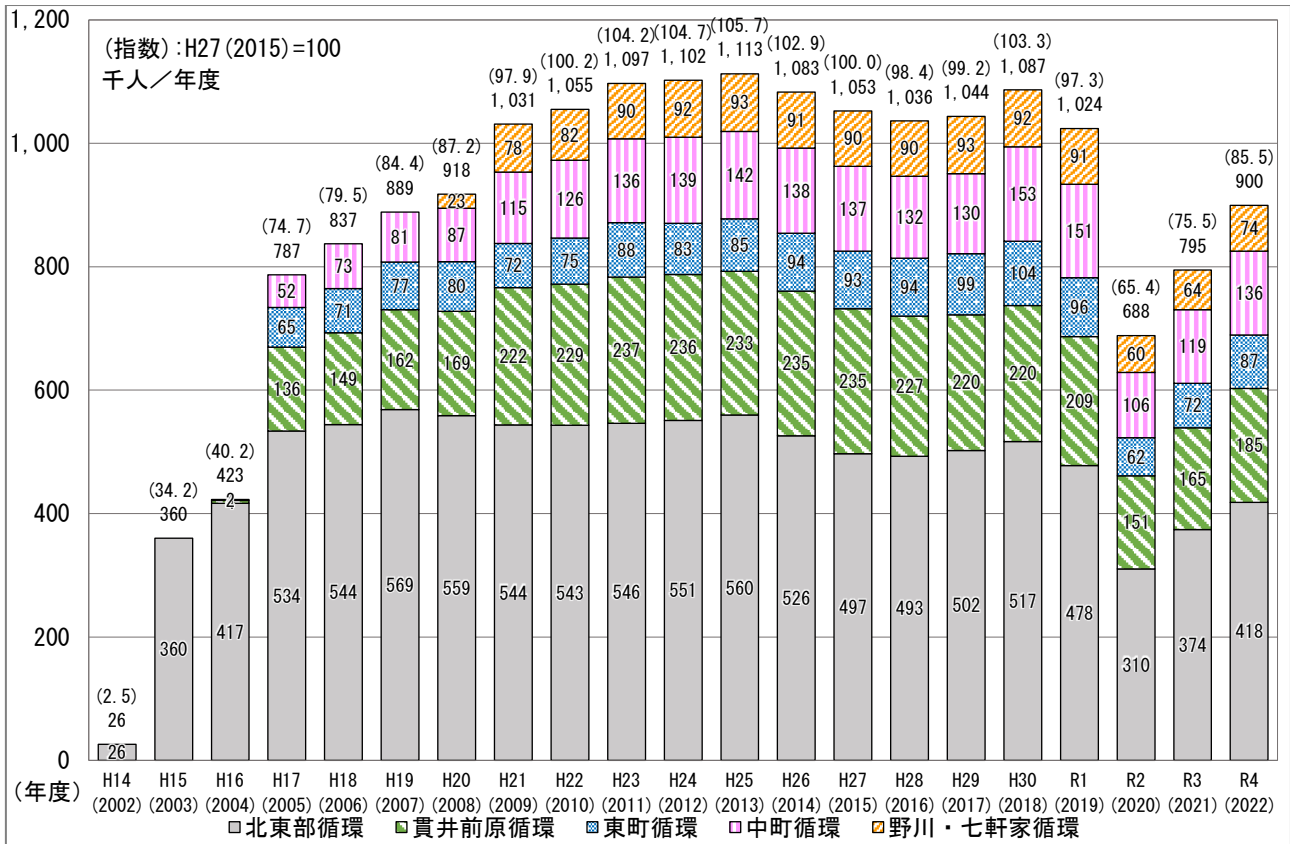
	CoCo バス					ムーバス
	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環	
運行本数	42 便/日(平日) 40 便/日(休日)	25 便/日	19 便/日	21 便/日	24 便/日	29 便/日(平日) 26 便/日(休日)
運行間隔	20 分	25 分	35 分	30 分	30 分	30 分
運行時間帯	7 時～20 時	9 時～19 時	9 時 05 分 ～19 時 35 分	9 時～19 時	8 時 35 分 ～20 時 05 分	7 時 24 分 ～21 時 33 分

※運行時間帯は始発・終発の発時刻に基づき記載

(3) 利用者数

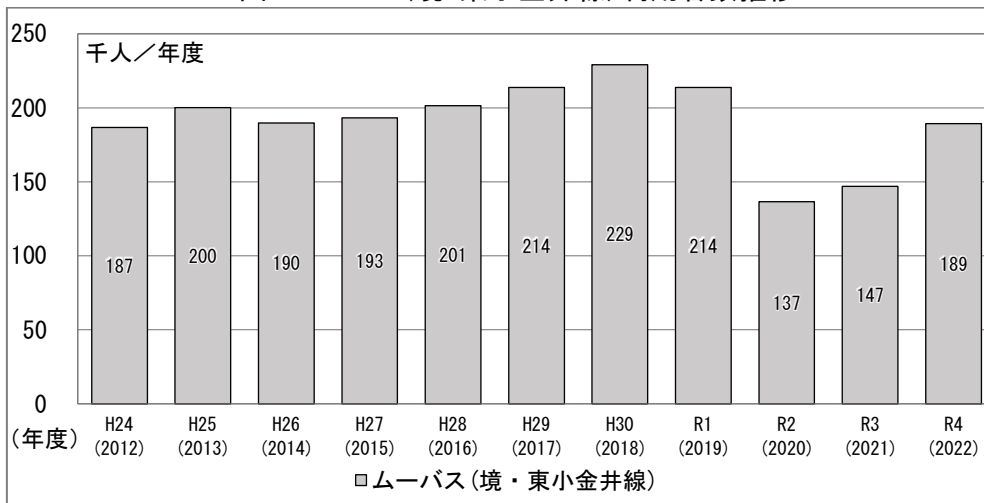
運行開始当初からの利用者数の推移は以下のとおりです。

図 CoCo バス利用者数推移



出典：小金井市提供の利用実績より作成

図 ムーバス(境・東小金井線)利用者数推移

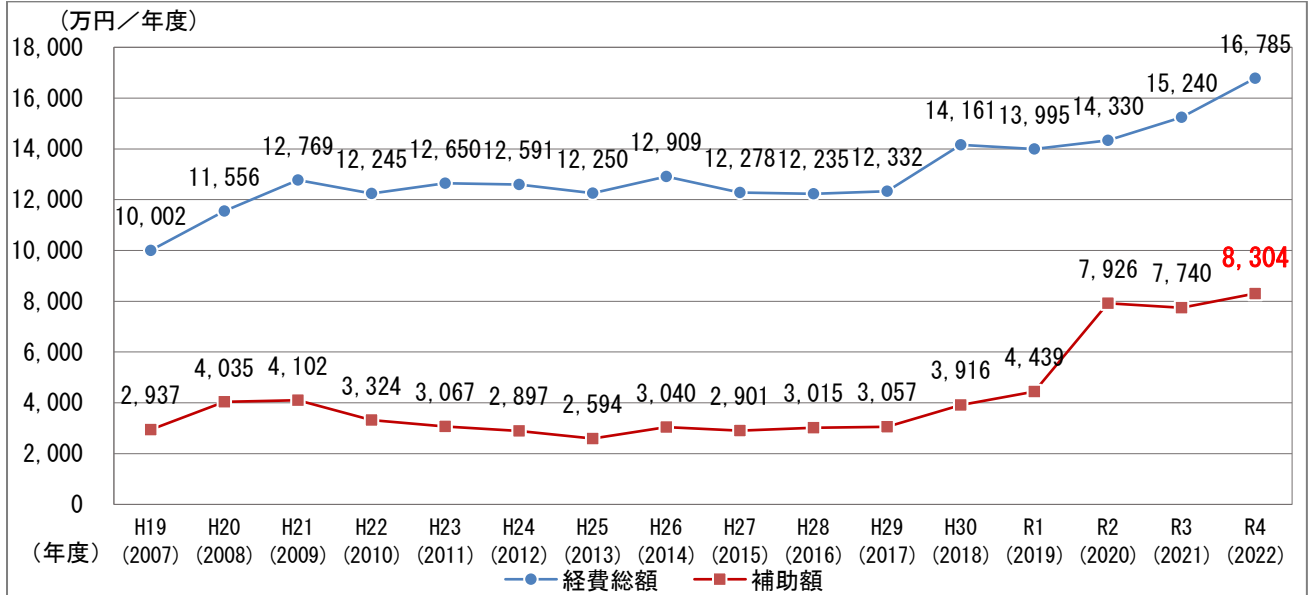


出典：小金井市提供の利用実績より作成

(4) 経費の状況

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少や人件費をはじめとした運行経費の増大により、年間約8千万円の市の補助により運行を維持している状況です。

図 CoCo バスにおける経費、補助額の推移



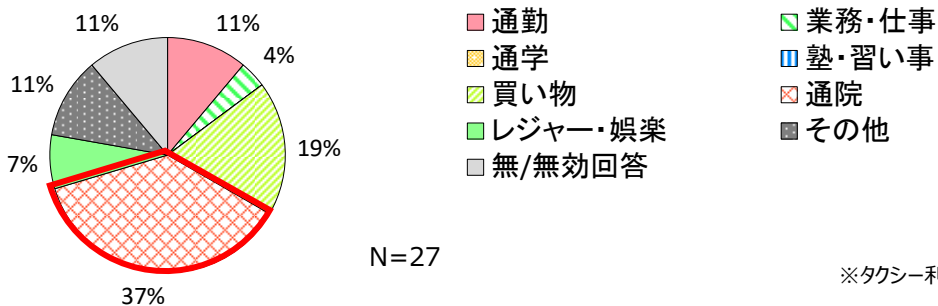
(出典：小金井市提供の利用実績より作成)

2.3.3 タクシー

利用者へのアンケート調査や事業者へのヒアリング調査によると、昼間時間帯の通院等の個別移動ニーズや、鉄道やバスの運行終了後の時間帯の移動にタクシーが利用されています。

■ タクシー利用者の移動の目的

2-③ 移動の目的

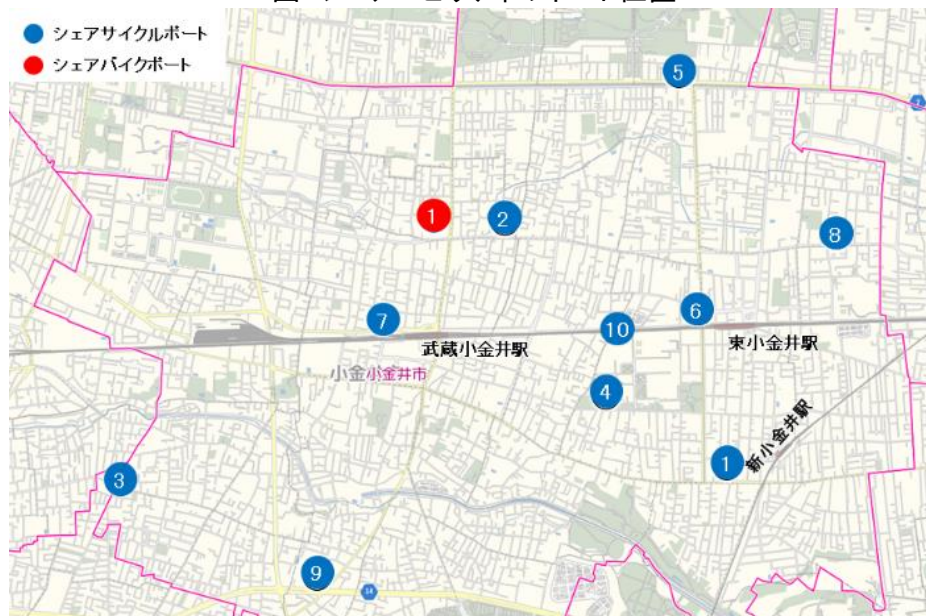


※タクシー利用者アンケート

2.3.4 シェアモビリティ

JR 駅を中心にシェアモビリティが配備されており、隣接市との相互利用も可能となっていますが、市内のポート数は限定されており、市民の利用経験も少数に留まっています。

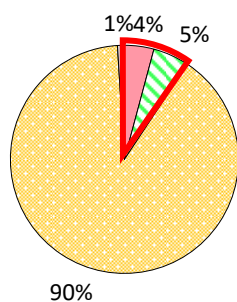
図 シェアモビリティのポート位置



出典：GEOSPACE (NTT インフラネット)、シェアサイクル：<https://www.hellocycling.jp/station/tokyo/小金井市>
 シェアバイク：<https://www.shaero.jp/stations/station-447.html> より作成

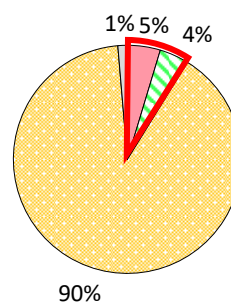
■ シェアモビリティの利用経験

3-5 シェアサイクル利用



N=816
 ※市民アンケート

3-6 カーシェアリング利用



N=816
 ※市民アンケート

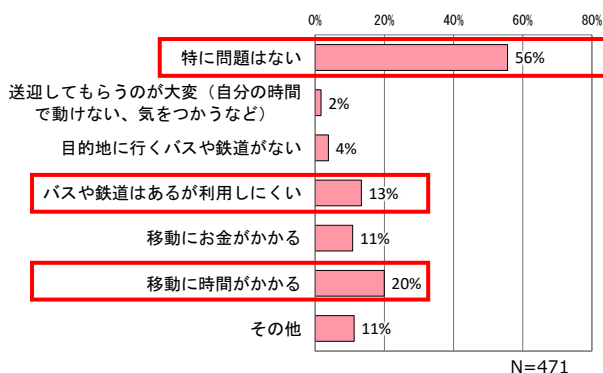
■ 小金井市内で借りたことがある ■ 小金井市外で借りたことがある ■ 利用したことはない ■ 無/無効回答

3 市民・公共交通利用者ニーズの整理

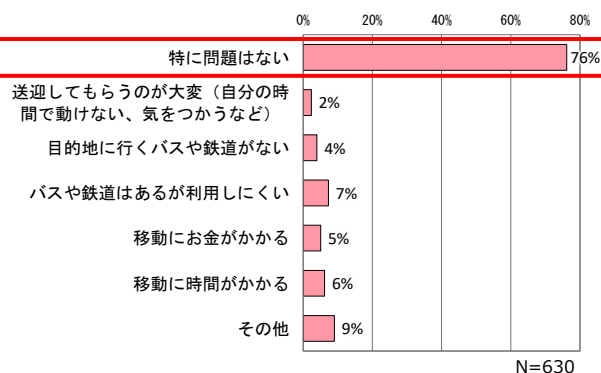
3.1 日常的な移動(市民アンケート)

買い物先、通院先、趣味・娯楽施設への移動では、7割以上が「特に問題はない」と回答しています。通勤・通学先への移動においても「特に問題はない(56%)」への回答が最も多い一方で、「移動に時間がかかる(20%)」や「バスや鉄道が利用しにくい(13%)」への指摘も挙げられています。

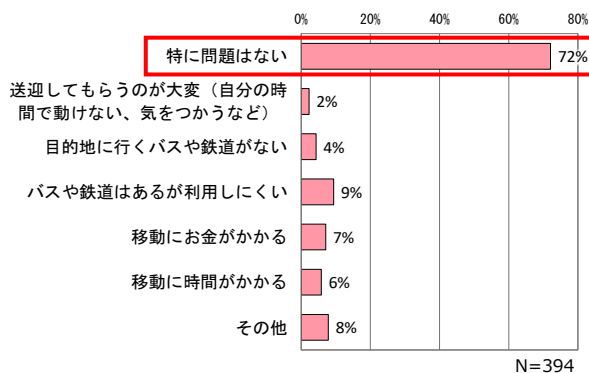
2-1⑤ 通勤・通学先への移動の課題



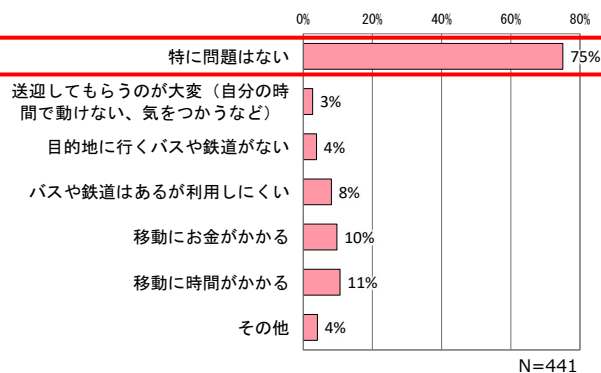
2-2⑤ 買い物先への移動の課題



2-3⑤ 通院先への移動の課題



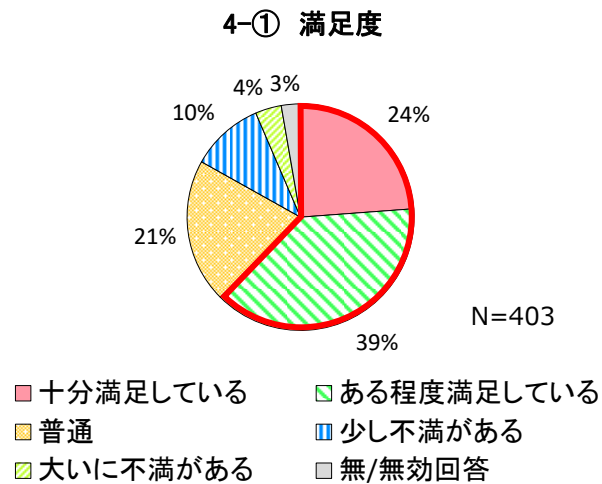
2-4⑤ 趣味・娯楽施設への移動の課題



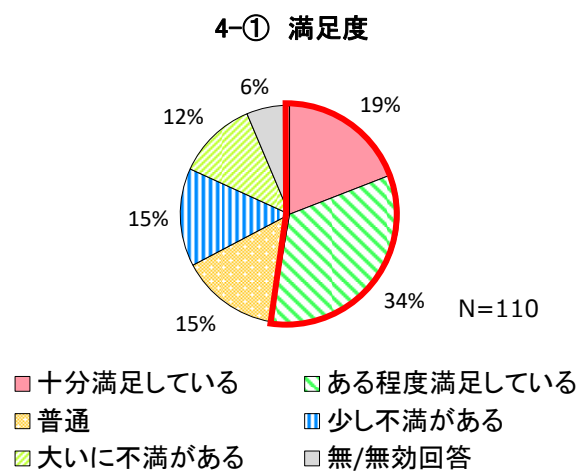
3.2 バスの満足度(路線バス利用者アンケート/CoCo バス利用者アンケート)

路線バスは約6割、CoCo バスは約5割と、それぞれ過半数が、サービスについて「十分満足」または「ある程度満足」と回答しています。

1) 路線バス利用者のサービス満足度



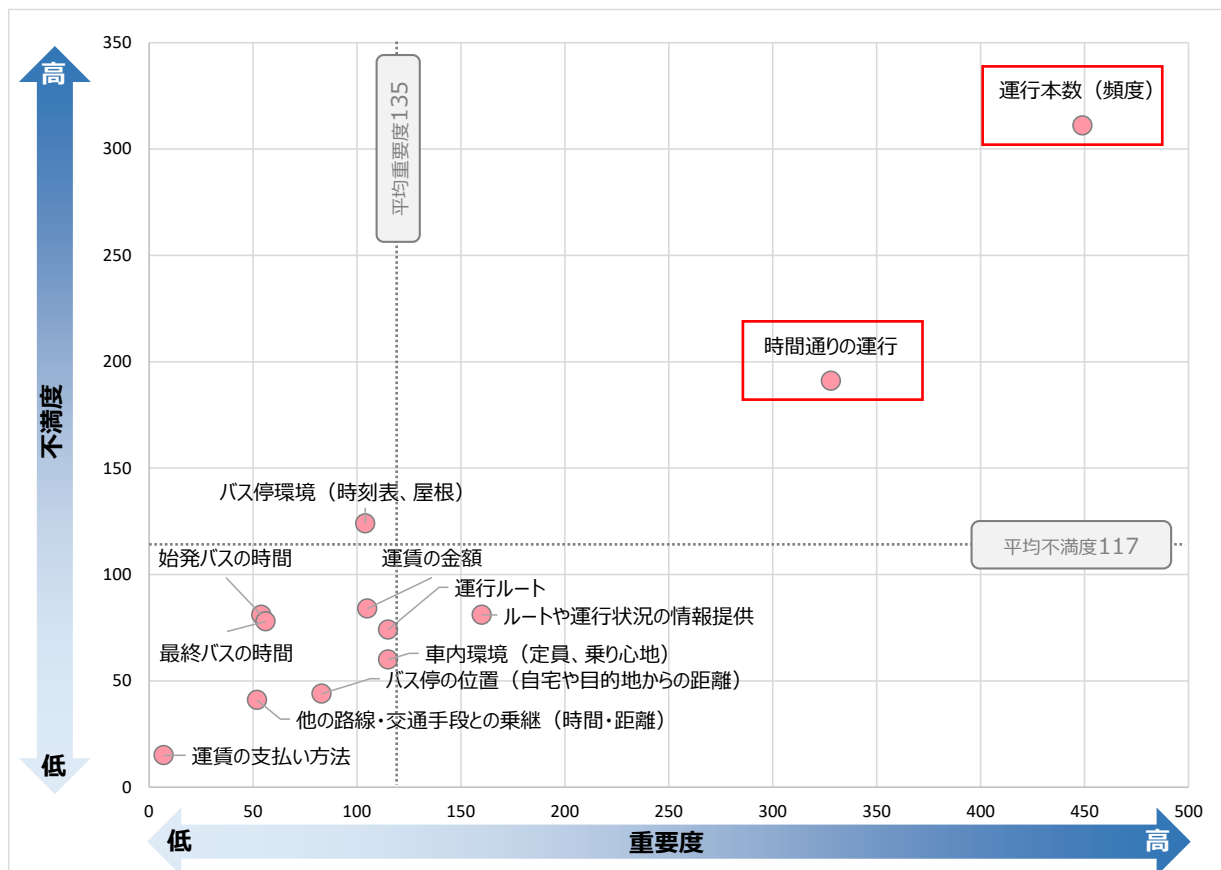
2) CoCo バス利用者のサービス満足度



3) サービスへの評価

路線バス利用者のサービスへの評価を点数化※すると、挙げられたなかでは「運行本数（頻度）」、次いで「時間通りの運行」について不満度、重要度が相対的に高くなっています。

※不満度、重要度の1位を3点、2位を2点、3位を1点と点数制で集計し、各項目の散布図を作成しました。課題に着目するため「特になし」については平均点に含みますが、図上にはプロットしていません。



3.3 バスの不満事項(市民アンケート)

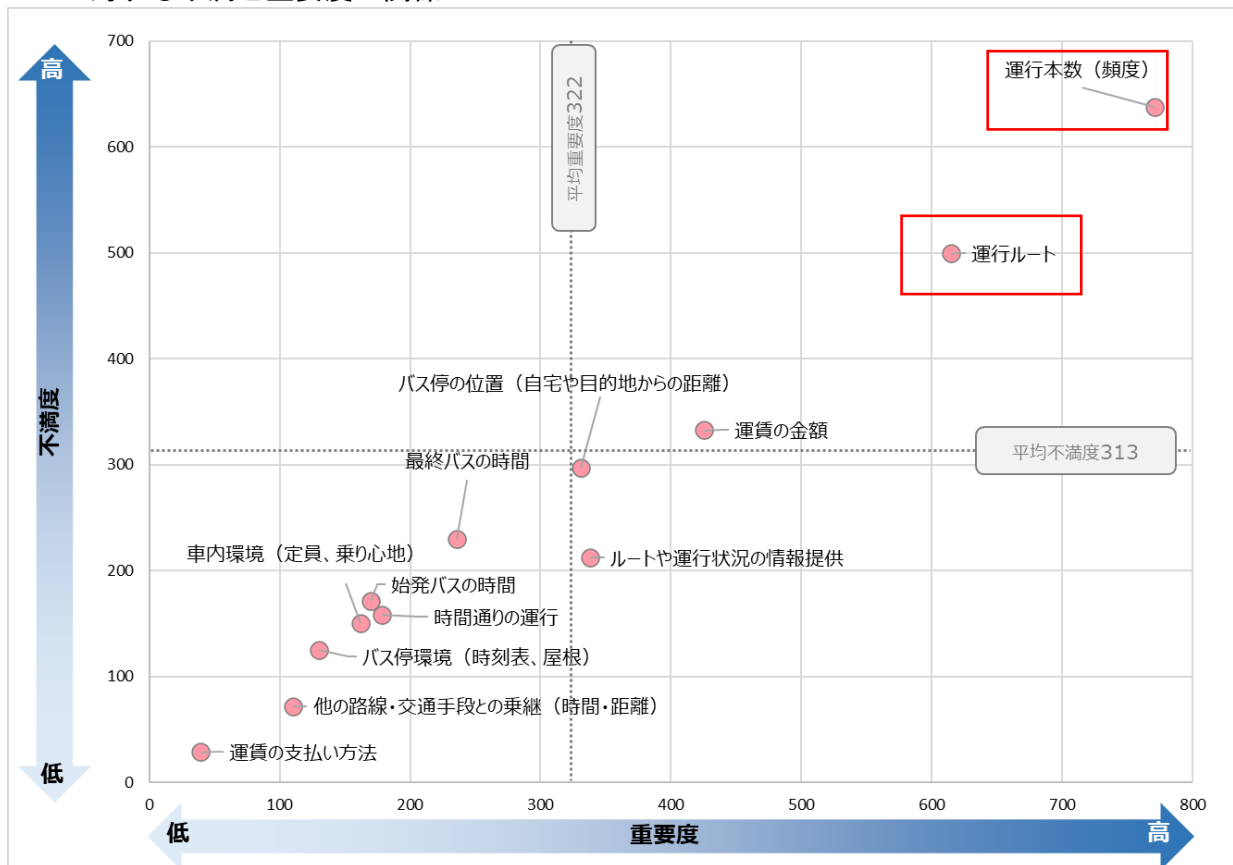
1) サービスへの評価

バスサービスへの不満は「特にない」方が最も多くなっています。一方で、サービスへの評価を点数化すると、「運行本数(頻度)」、次いで「運行ルート」について不満度、重要度が相対的に高くなっています。

■バスに対する不満事項

バスの不満	1番目の回答数	%	2番目の回答数	%	3番目の回答数	%
ルートや運行状況の情報提供	43	5%	26	3%	31	4%
バス停の位置(自宅や目的地からの距離)	50	6%	59	7%	29	4%
運行本数(頻度)	143	18%	84	10%	41	5%
始発バスの時間	25	3%	37	5%	22	3%
最終バスの時間	23	3%	60	7%	41	5%
時間通りの運行	27	3%	30	4%	17	2%
運賃の金額	59	7%	51	6%	54	7%
運賃の支払い方法	4	0.5%	3	0.4%	11	1%
運行ルート	103	13%	70	9%	51	6%
車内環境(定員、乗り心地)	23	3%	30	4%	21	3%
バス停環境(時刻表、屋根)	17	2%	18	2%	38	5%
他の路線・交通手段との乗継(時間・距離)	7	1%	15	2%	21	3%
特にない	178	22%	223	27%	324	40%
無/無効回答	114	14%	110	13%	115	14%
総数	N=816	100%	N=816	100%	N=816	100%

■バスに対する不満と重要度の関係

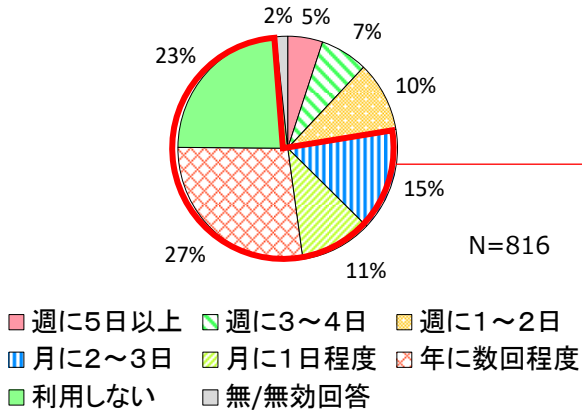


※不満度、重要度の1位を3点、2位を2点、3位を1点と点数制で集計し、各項目の散布図を作成しました。課題に着目するため「特にない」については平均点に含みますが、図上にはプロットしていません。

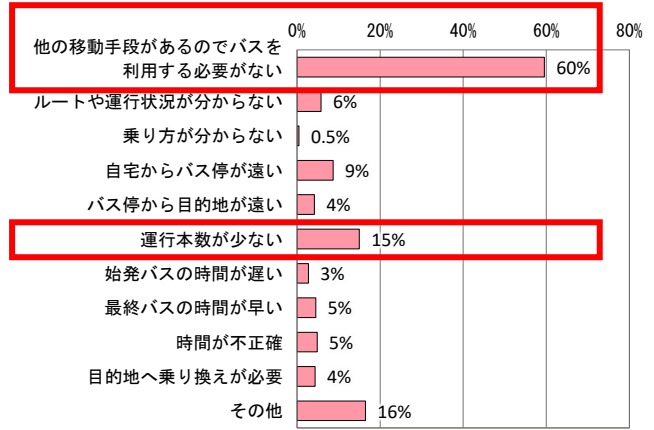
2) バスを利用しない理由

バスの利用頻度が低い（週に1回未満）方にバスを利用しない理由を確認すると、「他の手段で移動できるため」が約6割と最も多くなっています。また、15%は「運行本数（頻度）」を挙げています。

3-2 バス利用頻度



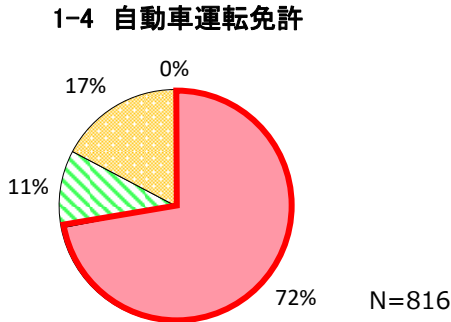
3-3 バスを利用しない理由



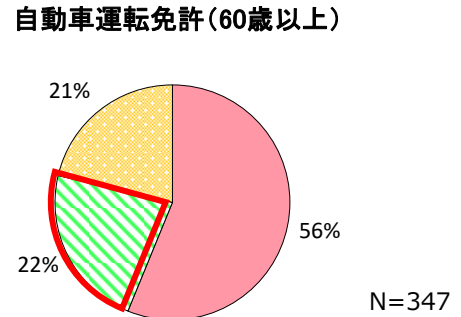
3.4 今後の公共交通(市民アンケート)

1) 自動車運転免許の保有状況

自動車運転免許を保有している方は全体の約7割です。60歳以上の方のうち約2割は返納済(取消・失効含む)です。



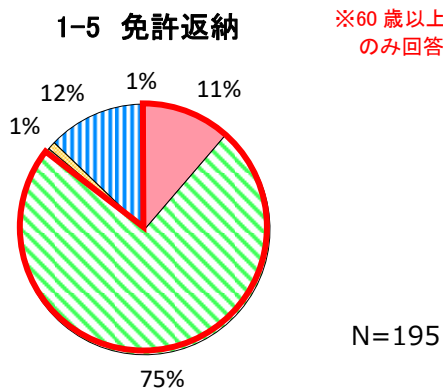
- 現在保有している
- 以前持っていたが、現在は保有していない
- 一度も保有したことはない
- 無/無効回答



- 現在保有している
- 以前持っていたが、現在は保有していない
- 一度も保有したことはない

2) 自動車運転免許の返納意向

また60歳以上の免許保有者のうち9割近くが近いうち・または将来的に返納を検討しており、今後の高齢化に伴い自由な移動が困難となる方が増加すると見込まれます。

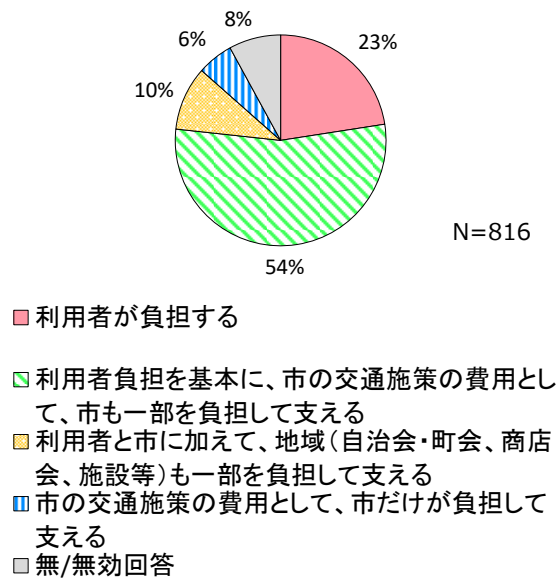


- 近いうちに免許を返納することを考えている
- 現時点で返納するつもりは無いが、将来的に検討する
- できれば返納したいが、他の移動手段がない
- 返納はしないつもりである
- 無/無効回答

3) 費用負担の考え方

公共交通の費用負担の考え方は、「利用者が負担する」を2～3割が、「利用者負担を基本に、市も一部を負担して支える」を5～6割が回答しており、「利用者と市に加えて、地域も一部を負担して支える」への回答は1割程度となっています。

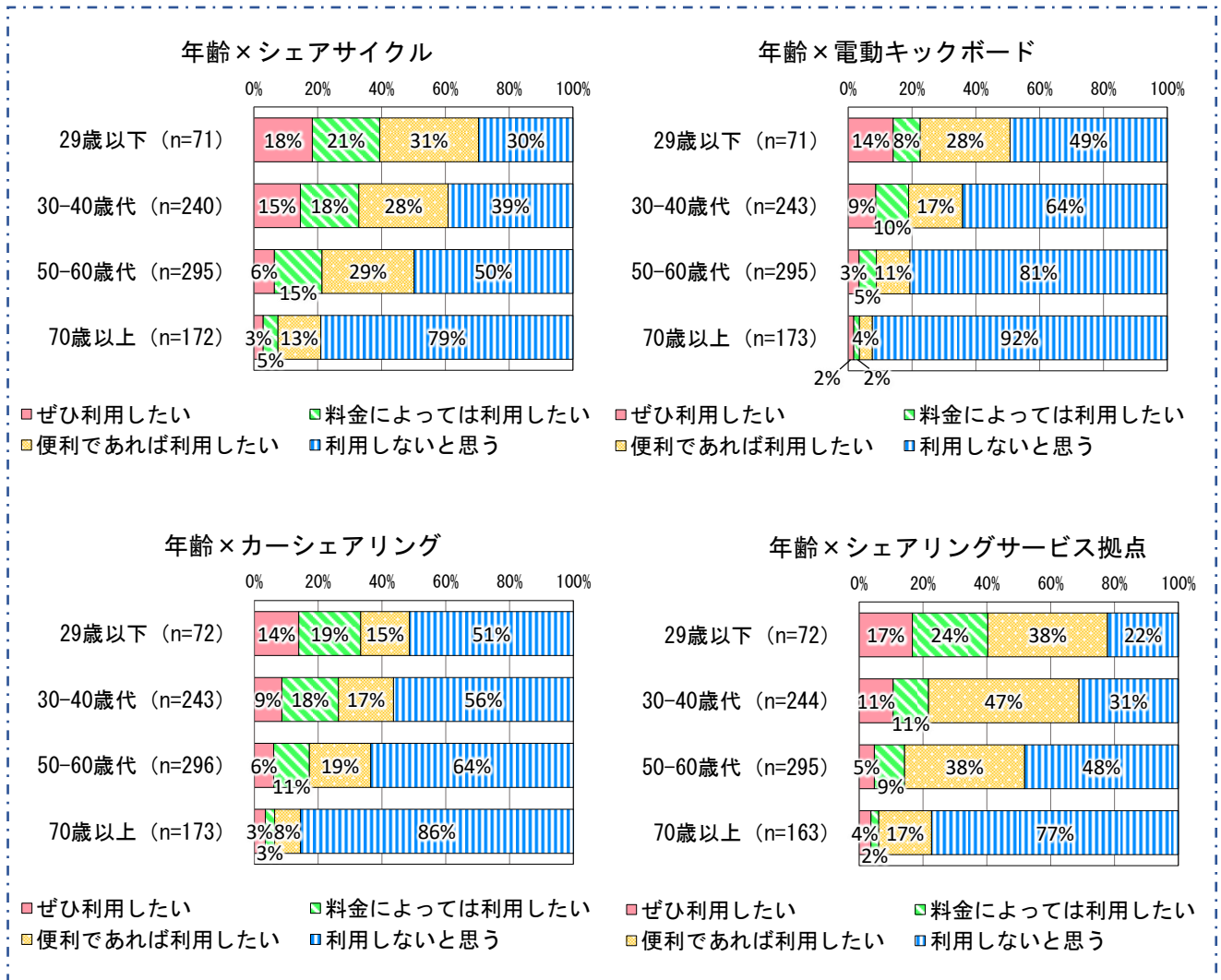
5-1 公共交通の費用負担



4) 新しい交通への要望

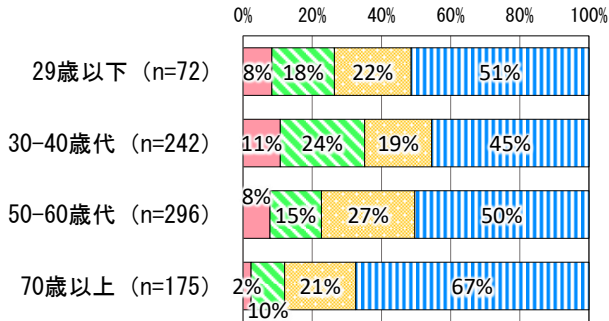
若年層や中年層は新たな交通手段や移動の仕組みに対して抵抗感が低くなっています。高齢者でも自らでの運転を伴わないサービスに関しては抵抗感が低くなっています。

自らの運転が必要なサービス

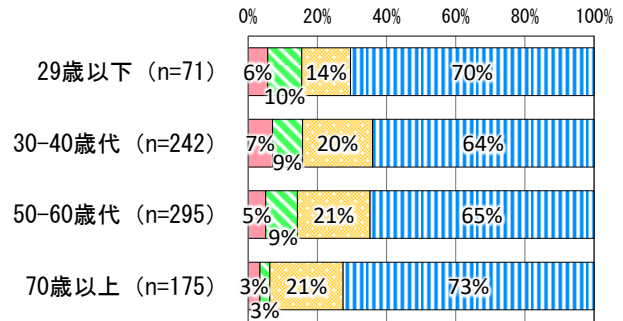


自らの運転を伴わないサービス

年齢×タクシーのエリア定額



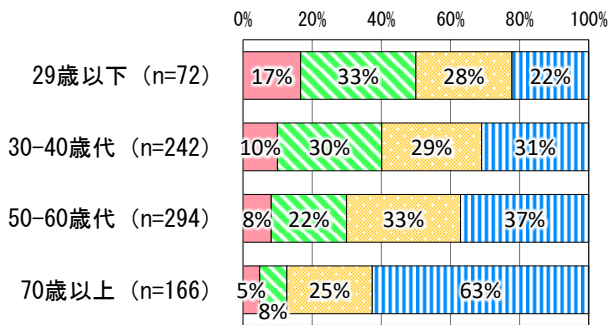
年齢×タクシーの相乗り



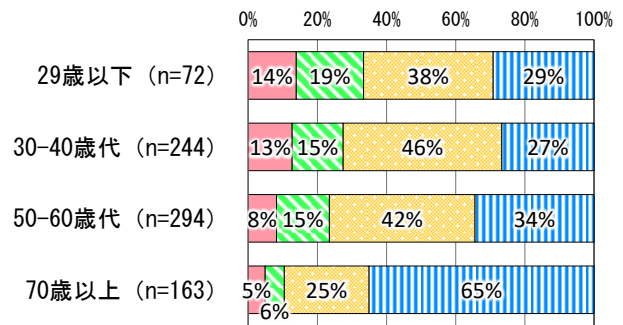
■ ぜひ利用したい ■ 料金によっては利用したい
■ 便利であれば利用したい ■ 利用しないと思う

■ ぜひ利用したい ■ 料金によっては利用したい
■ 便利であれば利用したい ■ 利用しないと思う

年齢×民間のエリア定額



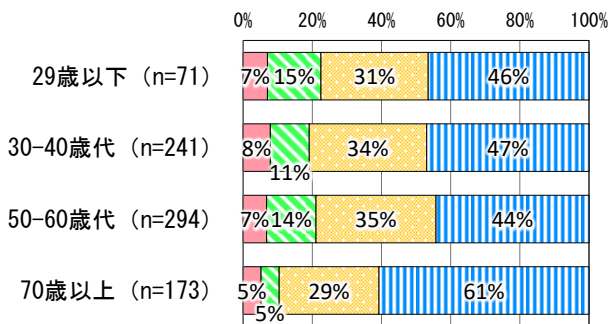
年齢×民間の移動サービス一括予約



■ ぜひ利用したい ■ 料金によっては利用したい
■ 便利であれば利用したい ■ 利用しないと思う

■ ぜひ利用したい ■ 料金によっては利用したい
■ 便利であれば利用したい ■ 利用しないと思う

年齢×小型車両による移動



■ ぜひ利用したい ■ 料金によっては利用したい
■ 便利であれば利用したい ■ 利用しないと思う

4【参考】アンケート調査の概要

4.1 調査実施概要

アンケート調査の実施概要は以下のとおりです。

1) 市民アンケート調査

【対象者】18歳以上の市民 2,000名

【方法】郵送配布・郵送回収

【実施時期】令和5年9月1日（発送）～

2) 利用者アンケート調査

調査対象	配布部数	回収方法	配布日時	配布方法
路線バス	1,500部	郵送 WEB 回答	駅前配布： 2023/9/13、19 車内配布： 2023/9/13～	武蔵小金井駅及び東小金井駅 でバスを待っている人に対して 調査票を配布
コミュニティバス (CoCoバス)	300部	郵送 WEB 回答 回収BOX		
タクシー	300部	郵送 WEB 回答		武蔵小金井駅及び東小金井駅 でタクシーを待っている人に対 して調査票を配布、ドライバー から車内で調査票を配布

3) アンケート回収状況

市民、利用者アンケート（路線バス、CoCoバス、タクシー）の回収状況は以下のとおりです。

表 各種アンケート回収数・回収(回収締切 10月18日)

	市民	路線バス	CoCoバス	タクシー
回収数	816	403	110	27
配布数	2,000	1,500	300	300
回収率	40.8%	26.9%	36.7%	9.0%

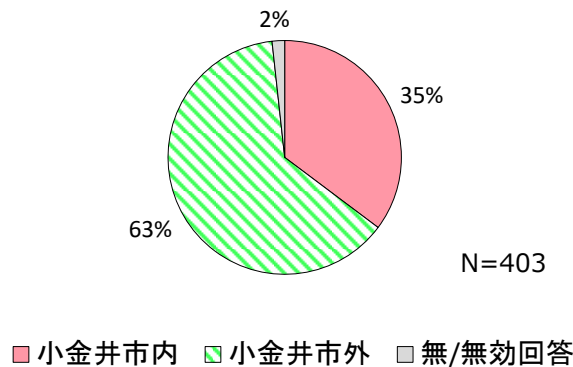
4.2 (クロス集計) 路線バス利用者の満足度

1) 利用者の居住地

路線バス利用者の住所構成は、「市外」63%、「市内」35%であり、市外居住者の利用が多くなっています。

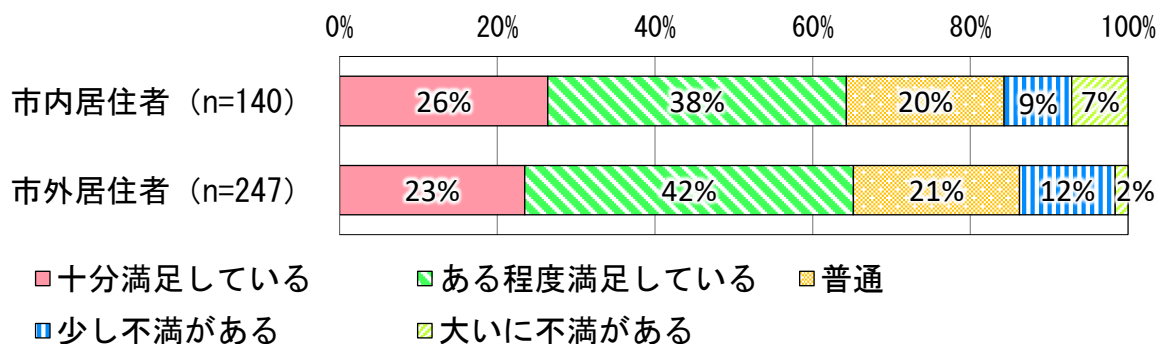
市内では路線バスの運行本数の多い地域である前原町や貫井北町、市外では小平市や東久留米市の利用が多くなっています。

1-①住所(郵便番号) 市内・市外別



2) 居住地別のサービス満足度

居住地別に、路線バス利用者のバスサービスへの満足度を確認しました。市内外の居住者で、サービス満足度は同程度となっています。



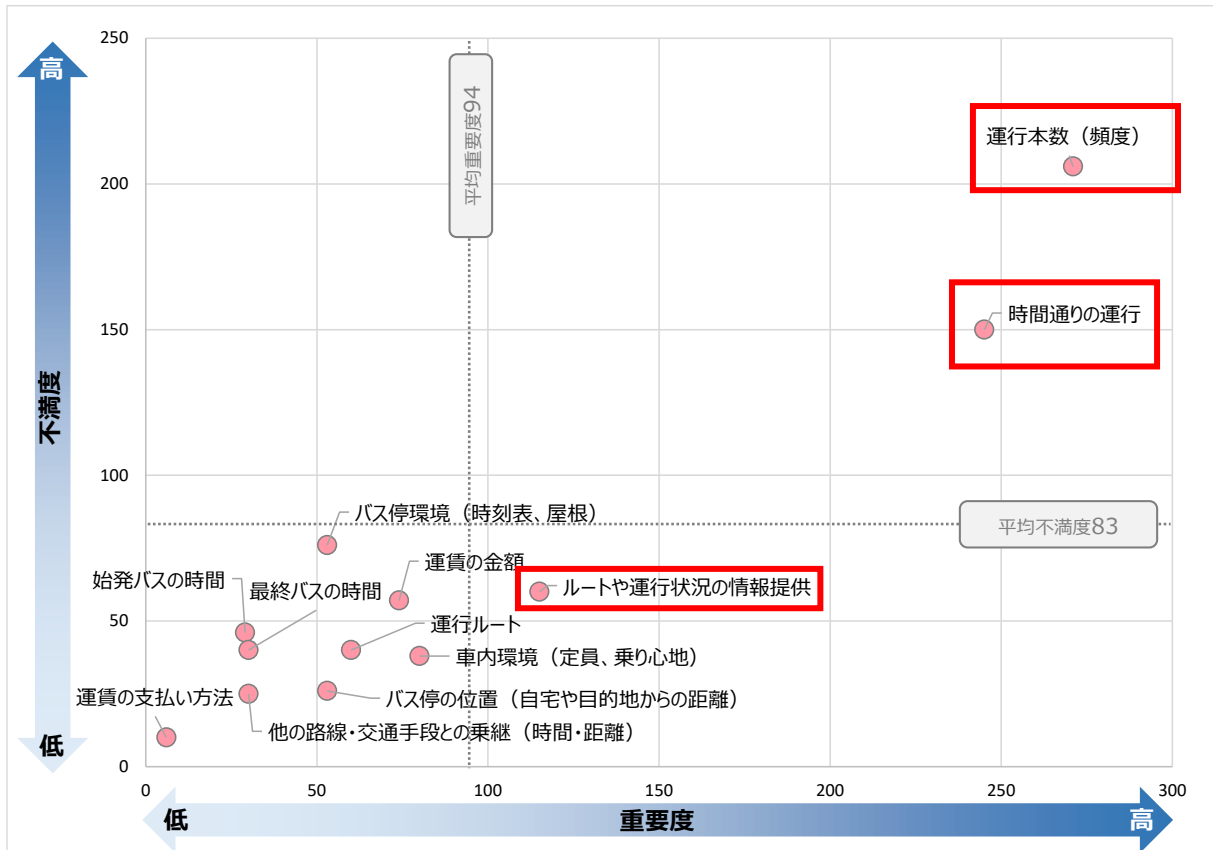
3) 居住地別のサービスへの評価

路線バス利用者のサービスへの評価を点数化※すると、挙げられたなかでは「運行本数(頻度)」が市内外居住者のいずれも不満度、重要度が相対的に高くなっています。

市外居住者は「時間通りの運行」に対しても不満度、重要度が相対的に高くなっており、「ルートや運行状況の情報提供」の重要度も比較的高くなっています。

※不満度、重要度の1位を3点、2位を2点、3位を1点と点数制で集計し、各項目の散布図を作成しました。課題に着目するため「特にない」については平均点に含みますが、図上にはプロットしていません。

■市外居住者



■市内居住者

